模型情報6月号 昭和60年6月1日発行（毎月1回1日発行） 第6巻第6号通巻70号 昭和59年10月26日第3種郵便物認可

# Monthly BANDAI Making Journal

# 模型情報®

6 1985

100yen

表紙イラストレーション
増尾 隆幸

Zガンダム設定資料
スパイラルゾーン
成田亨 スペシャルデザインワーク
バロム1 メモリアルヒーローコレクション



カット・水縞とおる

MJ Forum

## お好みに合わせてどんなロボットも登場。

いやぁ、今月は発表する事が多いなあ。とにかく見本市の日というのは、そういうものなのです。

この「ドデカイン」は、とある星のロボット業者が造り出した、全長で880kmに及ぶ超巨大ショールームで、5つのブロックに分けられており、その中で、様々なタイプのロボットが生活しているという設定。

このドデカインも、スパイラルゾーン同様にアニメ作品ではなく、バンダイオリジナルなのだ。

マシンロボ風、動物風等々のいろいろなロボットが設定されているけど、中でもカワイコちゃんロボの、アムちゃんが良いねェ。発売は今秋になる予定だ。お楽しみに。

アムちゃん　ターボーイ

## 僕はマミちゃんが良いな。君は誰かな。

昨年発行したMJ別冊・プリティフィギュアは予想以上に好評で、フィギュアブームが一気に盛り上がってしまいましたね。

火つけ役のバンダイですが、このたびようやく重い腰を上げ、フィギュアシリーズを展開する事になったのです。バンダイがやるからには、中途半端なものは作れないと、目下思案中です。

見本市には、石井和夫氏の作品を中心に、参考出品という形で、ズラリと展示されて、フィギュアファンなら思わずヨダレが出てしまいそう。

商品化される時は、どんな仕様になるか楽しみだね。きっとファンの皆さんが納得する様にします。

さあ、君は誰をフィギュア化してほしいんだい!?

## スパイラルゾーンはホビー界の注目企画。

4月号より連載開始となったSF小説「スパイラルゾーン」だが、何と商品化へと本格的に動き始めたのだ。

そもそもこの企画は、TVや映画に頼らない、バンダイ独自のオリジナルSFワールドを展開したいという事で一昨年にスタートしたものだ。

紆余曲折・試行錯誤のくり返しで、ようやくまとまってきたのが今年に入ってから。そこでこの企画をバックアップするために模型情報で連載を始めたわけだ。

5月の静岡見本市において発表されたので、いずれ各模型誌にも紹介されると思うが、一足先に模型情報で報告しておこう。

この企画の中心となるのは、1/12の可動フィギュアである。全部で36ヶ所も可動する精密フィギュアに、布製のスーツ、プロテクター、バックパックを装備して楽しめる。またフィギュアを生かすためのメカも多く登場するので、商品化が進めば、あなたのイマジネーションも加えて、幅広い楽しみ方ができるシリーズとなることうけあいである。

現在進行形のこの企画「スパイラルゾーン」は、模型ファンの意見も充分に取り入れていこうと思っているので、読者の皆さんの意見をお聞かせ願いたい。(何、真剣に読んでなかった!? さっそく4月号から、もう一度読み直してね。)

85年後半のホビー界最大の話題は「スパイラルゾーン」だ。

## 新模型専門誌「レプリカ」に注目です。

模型専門誌の動きが活発だね。昨年創刊されて成功したモデルグラフィックスに刺激されたのでしょうか?。

さてその中で、6月上旬に創刊されるのが「レプリカ」という模型情報誌。発行元は、TACエディション。ここからは、以前、F4ファントムという本が発行されているので、ご存知の方も多いはず。

「レプリカ」は、毎月2回発行されるそうだ。サイズはA4変型判(286×215ミリ)総頁78頁、平綴じ。カラー16頁モノクロ56頁、折込図面付。定価550円。

内容は、飛行機、ミリタリー車、バイク等のスケールモデルが中心になるそうだ。

創刊号は、航空自衛隊のF-104J。2号が米軍のF-16戦闘機だそうだ。

我模型情報も、うかうかしていると大変だ。模型ファンのためにお互いにがんばりましょう

## 別冊Zガンダム第2弾に君も参加しよう。

MJマテリアルNo.4の「機動戦士Zガンダム」が6月上旬に発行になる。小田さんをはじめとして一流のスタッフの作例記事と、アニメ誌にはまず掲載されないだろうメカ設定もカバーしていますから、モデラー必見の一冊なのだ。

さて、MJマテリアルとして、「機動戦士Zガンダム」の第2弾を準備中であることを報告しておこう。

発行は7月を予定しているのだが、第一弾のメカニック作例集に対して、第二弾はキャラクター中心の構成となる。そして、読者の皆さんのポストカードギャラリーというコーナーを作ってしまおうと考えているのです

Zガンダムあるいは前作のガンダムの登場人物をあなたの思いのままにハガキに描いて編集部に送ってね。もちろんカラーがいいな。採用者には特別記念品をあげます。しめ切り6月末。

## Zガンダムを10倍楽しむための1冊。

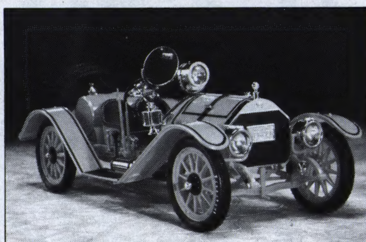
機動戦士Zガンダムはいかがですか?前作を見ていないから話がよく理解できない等の声を聞きますが、そんな視聴者のために、実にありがたいガイドブックが出た。もうご存知の人が多いと思うが「機動戦士Zガンダムを10倍楽しむ本」(講談社刊・480円)がそれ。

この本は、ストーリー解説はもちろんだが、モビルスーツを中心にしたメカデザインの流れを詳しく解説しているためメカファンには是非とも読んでいただきたい。前作からMSV、そしてMSX、Zへの流れが一目でわかる構成となっている。




まさに、この本を読めばZガンダムは10倍楽しく観る事ができそうだ。

## クラシックカーが新パッケージで再販。



最近でこそ、スケールモデルの開発がストップしていますが、バンダイのスケールモデルの中には、他社のまねが出来ないものもあるのです。

その代表が、クラシックカーシリーズです。長い間、パッケージ変更もなく生産され続けてきましたが、パッケージ、解説書等、いかんせん古さはかくしきれない状態となってきました。

そこで、パッケージと解説書を新規にすることになったのです。もちろん、金型上の問題点等も改修される事になりました再デビューするのは夏頃となる予定です。

一度には変更しきれないので序々に進行する予定。

予定されているのは、マーサー・レースアバウトを始めとする10点。

## ロボチェンマンの兄貴分カワルドスーツ。




デフォルメシリーズも完全に一つのジャンルとして定着してしまった感がありますが、新製品企画も続々と進行中です。

ロボチェンマンの兄貴分として企画されたのが「カワルドスーツ」。



このシリーズは、人気のメカを設定にこだわらず変形メカとしてアレンジしたもの。デフォルメのかわいさと、変形のギミックが楽しめる。ガンダムMkIIを始めとして、リック・ディアス、アーガマ等が予定されている。

パロチェンマンの次期企画はウルトラマン、フランケンシュタイン、狼男がラインナップされている。

さて次はロボチェンマン。6月に登場するMkIIの次は、ハイザックとリック・ディアス、ガルバルディβというZガンダム関係が控えている。ちょっと変ったところではチェンジロボが候補に上がっているけど、まだこれはどうなるか未定。



しかし、これだけ種類がふえてくると、コレクターズアイテムだね。初期の商品が市場から消えないうちに……。



## コンピュータ・カーがすごい「ナイトライダー」



ナイト2000こと愛称キットのファンが増えている……らしい。昨年暮に日曜洋画劇場で放送されたアメリカの人気テレビシリーズ「ナイトライダー」の人気が盛り上がっている。テレビ朝日ではその人気に応えて4月21日に「ナイトライダー2」を放送し、6月2日には「ナイトライダー3」を放送の予定。瀕死の重傷を負った刑事が最新の外科手術によって全く別の人物マイケル・ナイトとして甦り、最新コンピュータを内蔵したロボットカー「ナイト2000」を与えられ、秘密捜査官として活躍するSFアクションシリーズ。アメリカでは82年秋からNBC系に登場し、現在も放送中の人気番組。日曜洋画劇場に登場した作品はパイロット版と第2シリーズの第1話のスペシャル版。日本でも高視聴率を獲得しているので、テレビ朝日では1時間シリーズの放送を検討中の様子。

同じテレビ朝日では5月12日に、これも米NBCの超人気番組「必殺!Aチーム」のパイロット版を放送した。この作品は現在NBCの視聴率ナンバーワンの人気シリーズでこの作品の大ヒットで、今のアメリカTV界はアクション作品ブームになってしまった。5人の男女が非合法に悪をこらしめる、アメリカ版必殺シリーズ「アメリカン・ヒーロー」でおなじみのスティーブン・J・キャネル製作のシリーズ。



また、米で人気のヘリコプターアクション「エアウルフ」、コンピュータ内蔵の超バイクが活躍する「ストリート・ホーク」、そして「超人ハルク」などがビデオソフトで発売中、この機会にぜひ見ておきたいですね。

MOBILE SUIT
GUNDAM
Z

# 機動戦士 Zガンダム



## PMX−000 メッサーラ

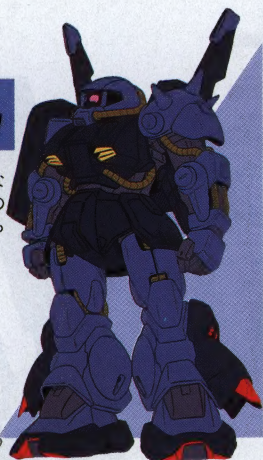
旧ジオン軍のモビルアーマーに比べ、小型でしかも機動力に富む。モビルスーツ形態に変形できるため戦闘能力が向上している。パプティマス・シロッコ搭乗。

## ORX-005 ギャプラン

ニュータイプ用可変モビルアーマー。メッサーラ同様モビルスーツ形態に変形可能。

## 連邦軍用 ハイザック

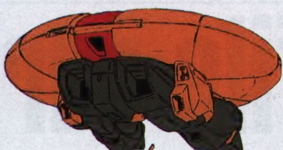
ティターンズではない一般の連邦軍用のカラーリングに塗られたハイザック。

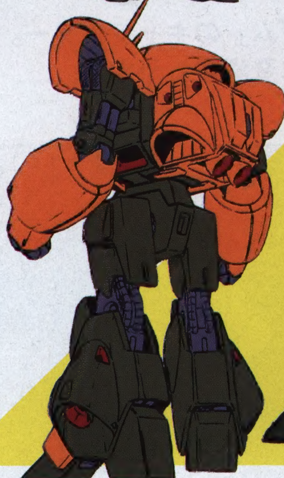


## NRX-044 アッシマー

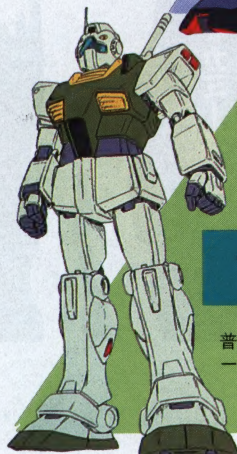
モビルアーマー時はほぼ円盤形態というユニークな可変モビルアーマー。ニュータイプ用。









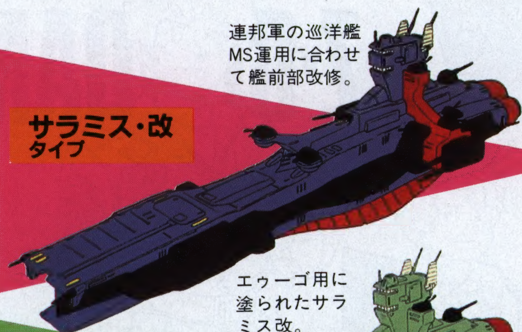


## エゥーゴ用 ジムII

普及型MSジムのエゥーゴカラー機体。

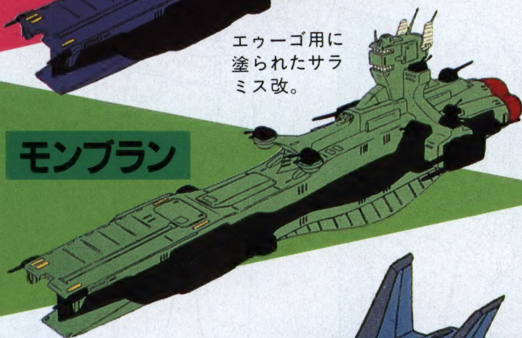
## サラミス・改 タイプ

連邦軍の巡洋艦MS運用に合わせて艦前部改修。

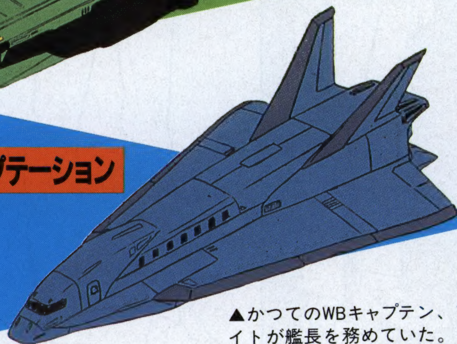


## モンブラン

エゥーゴ用に塗られたサラミス改。



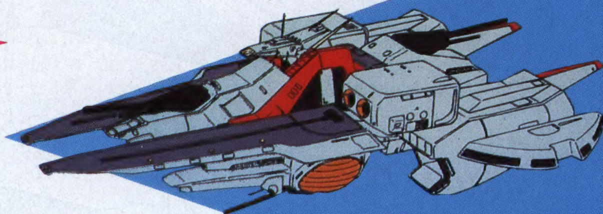
## テンプテーション

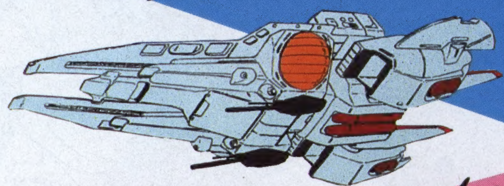


▲かつてのWBキャプテン、ブライトが艦長を務めていた。

## アーガマ

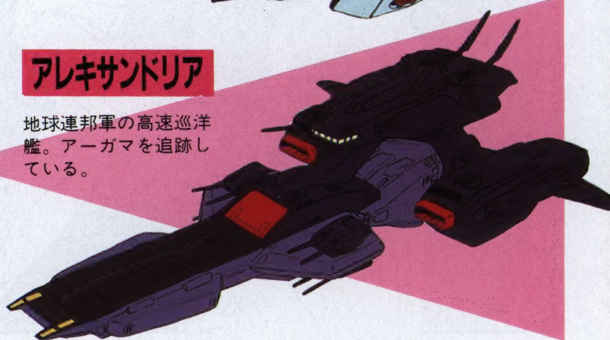
W.B(ホワイトベース)を基本に建造されたエゥーゴの強襲用宇宙巡洋艦。





## アレキサンドリア

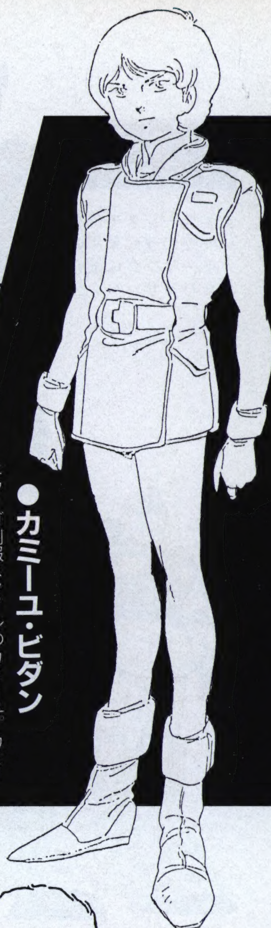
地球連邦軍の高速巡洋艦。アーガマを追跡している。



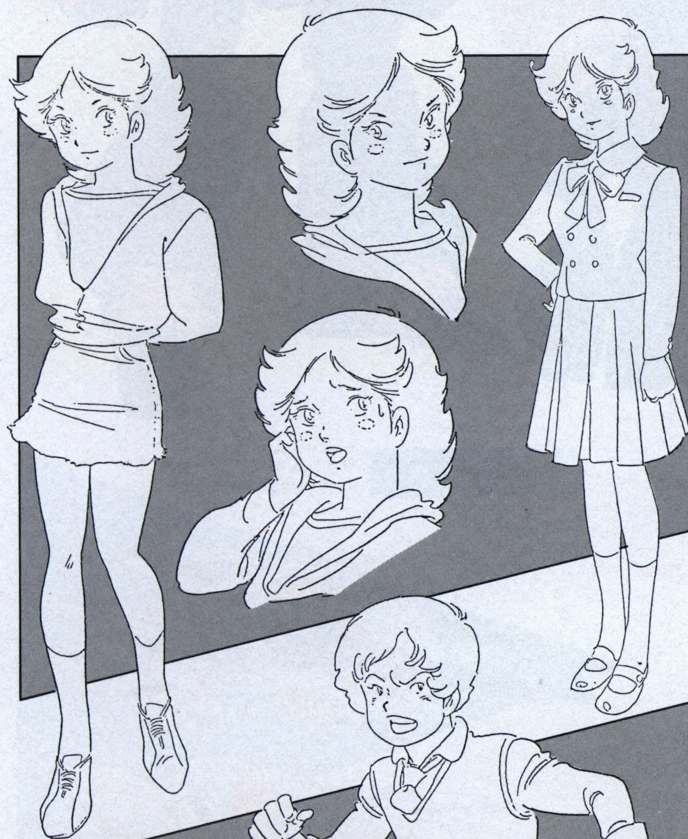
# MOBILE SUIT Z GUNDAM 機動戦士Zガンダム

# charactes file part,3

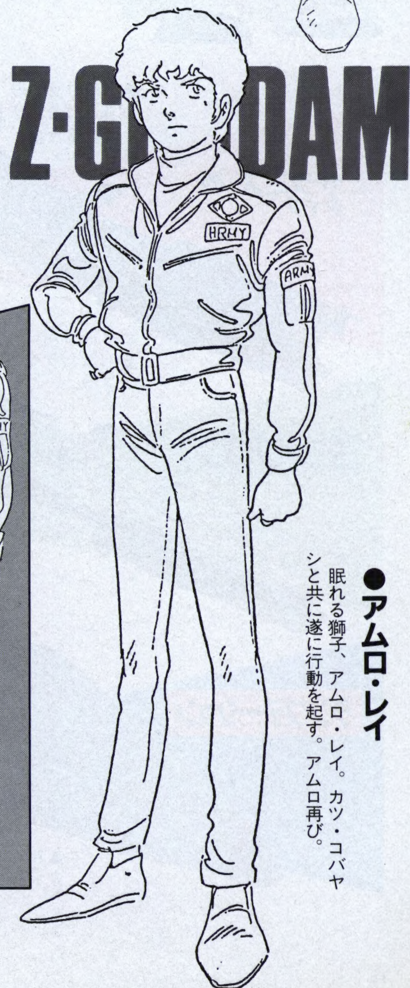
続々と登場する「機動戦士Ｚガンダム」のキャラクター。旧ホワイトベース。メンバーも回を追うごとに登場する予定だ。



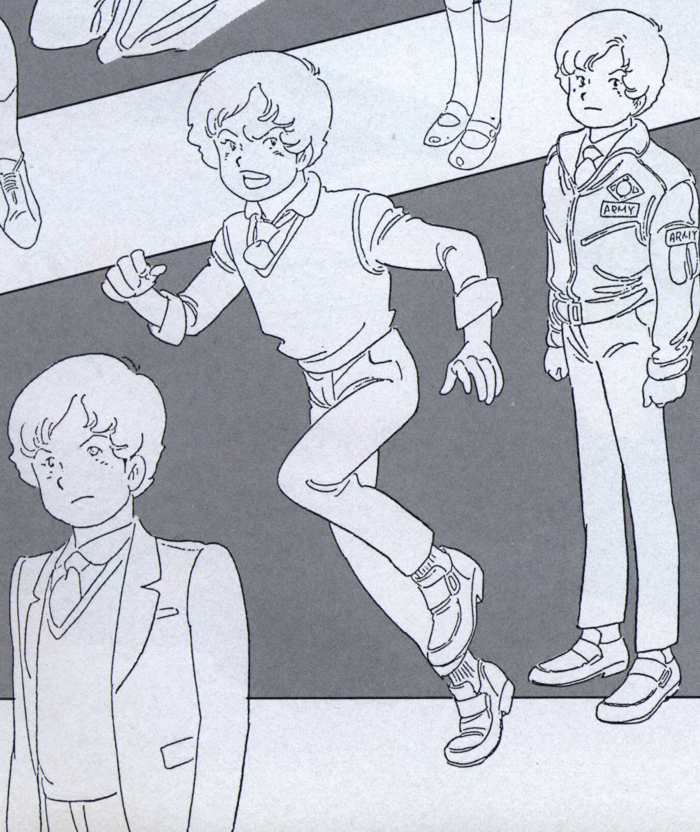
●カミーユ・ビダン
エゥーゴ制服スタイルのカミーユ。カミーユ自身は、とりあえず着ません。モデルのみ。



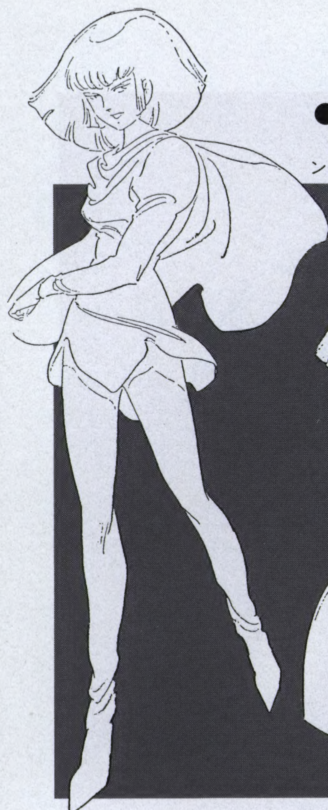
●キッカ・コバヤシ
「一年戦争」の時、おチビさんだったキッカも美しく成長。どことなくフラウ似？




●アムロ・レイ
眠れる獅子、アムロ・レイ。カツ・コバヤシと共に遂に行動を起す。アムロ再び。

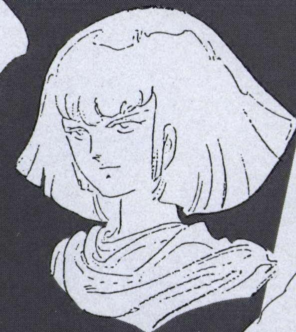


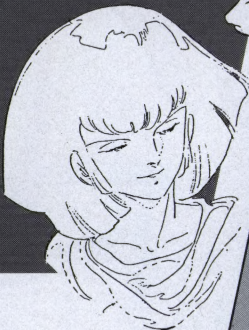

●カツ・コバヤシ
カミーユのアンチテーゼとして活躍するカツ・コバヤシ。彼こそ、第2のアムロか？

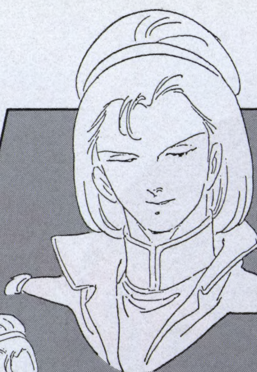


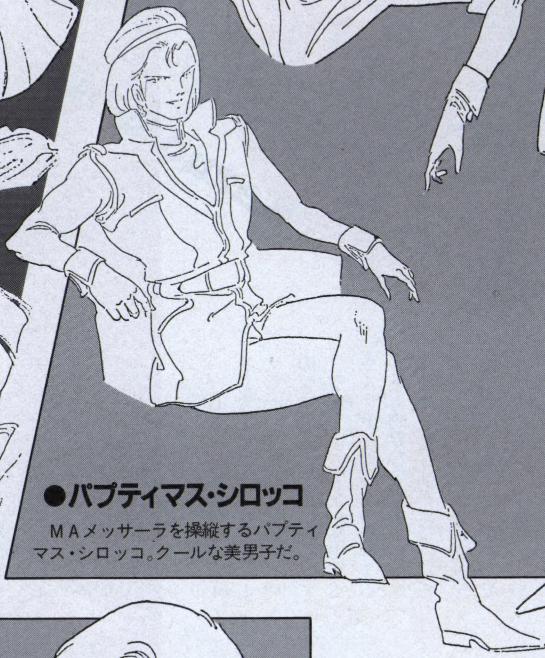
## ●ハマーン・カーン

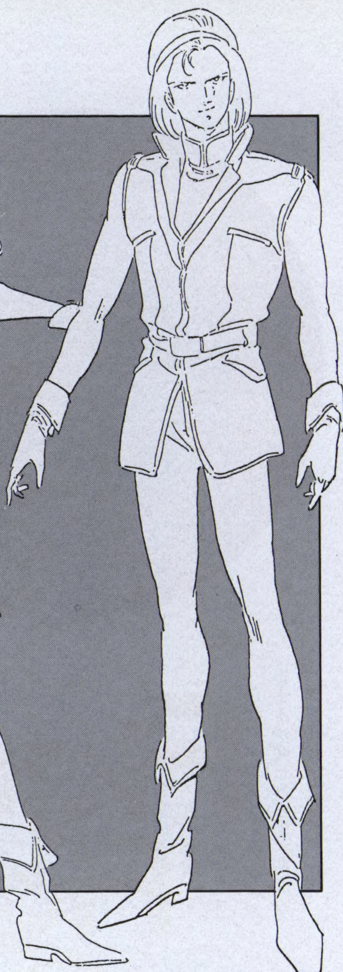
男か？　女か？　謎の人物ハマーン・カーン。ジオンの亡霊として怖れられている。





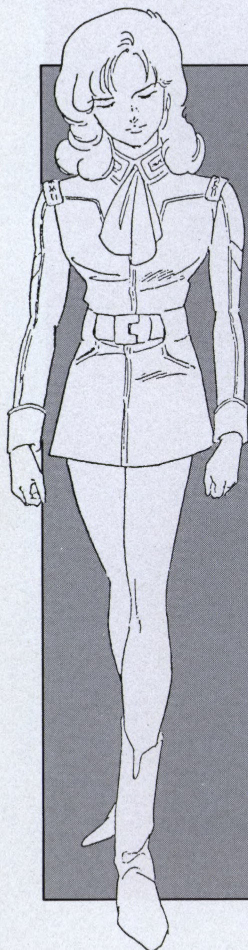


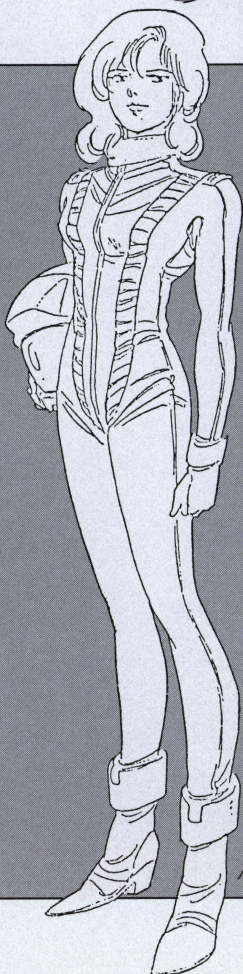


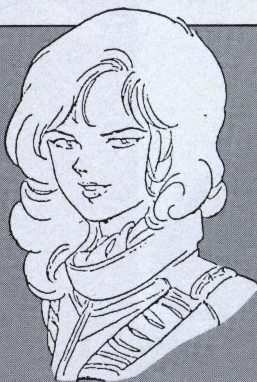


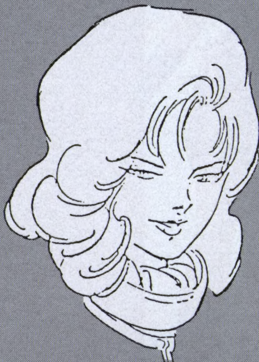
## ●パプティマス・シロッコ

ＭＡメッサーラを操縦するパプティマス・シロッコ。クールな美男子だ。



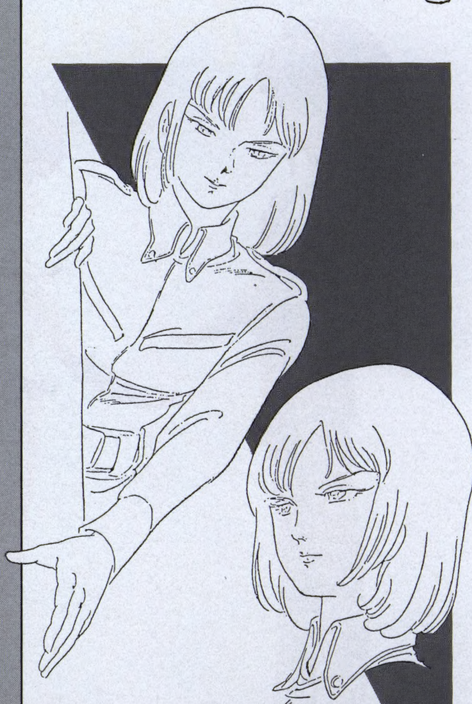






## ●ロザミア・バダム

MAギャプランを操る美少女ロザミア・バダム。17歳の強化人間だ。



## ●マウアー・ファラオ少尉

12話にチラッと登場した美少女マウァー・ファラオ少尉。今後の活躍が期待されます。

# クリィミーマミ

「ロング・グッドバイ」

Kazuo-Ishii



今月は、エモーションのオリジナルビデオ「クリィミーマミ／ロング・グッドバイ」のマミです。
なんといっても、高田明美さんデザインのコスチュームが魅力的♡なのです。今回は可動フィギュアではないのですが、コスチュームは布地を使用しています。したがって中味も、しっかりと作ってあります。これなら、コスチュームを換えて楽しめるのです。（しかし、アブナイ企画だ）
先月号で募集していた、マミのフィギュアがどれくらい集まるか楽しみです。期待しています。

## Figure Figure Figure



スパイラルゾーン

# SPIRAL ZONE

WRITTEN AND DIRECTED BY
KAZUNORI ITO
CHARACTER DESIGNED BY
AKEMI TAKADA
ILLUSTRATION BY
HIROYUKI KITAZUME
MECHANICS DESIGNED BY
RYO SAKUMA
JUN KATO
KUNIO OKAWARA
KAZUHISA KONDO
HIROYUKI KATO
PRODUCED BY
SATOSHI KATO
CO-PRODUCED BY
KEN SUEKAWA



## Scene 3
## 索　敵

ブロンコ一機、モノシード三輌、マッドレミング二輌からなるSFG第17分遣隊〝ファイヤーボール〟の7人は、豊かな水をたたえたS湖を左手に見て、ルート20を北上していた。

「ツーリング日和だねぇ、オレには関係ないけどさ」

ベースを出発するとき、ジェレミー・グレイがつまらなそうにそう言ってブロンコの銃座についたのを思い出し、麟は苦笑した。

麟はブルソリッドスーツを着ていても、風を感じることができた。住民が避難して無人と化した市街地をぬけると、風に青っぽい初夏の匂いがまじった。

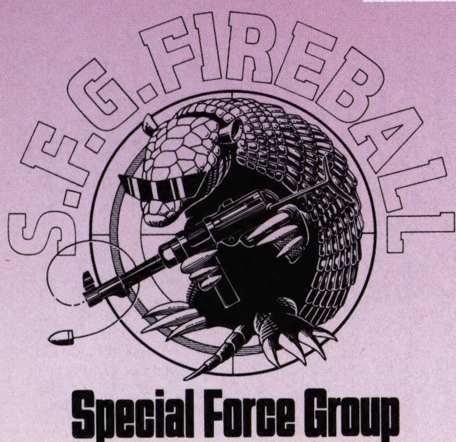
あるいは錯覚だったかもしれない。が、麟の眼にうつる緑には、それほどのみずみずしさがあった。自然は、人間にいためつけられ〝ゾーン〟に圧迫されながらも、変わることなく息づいていた。

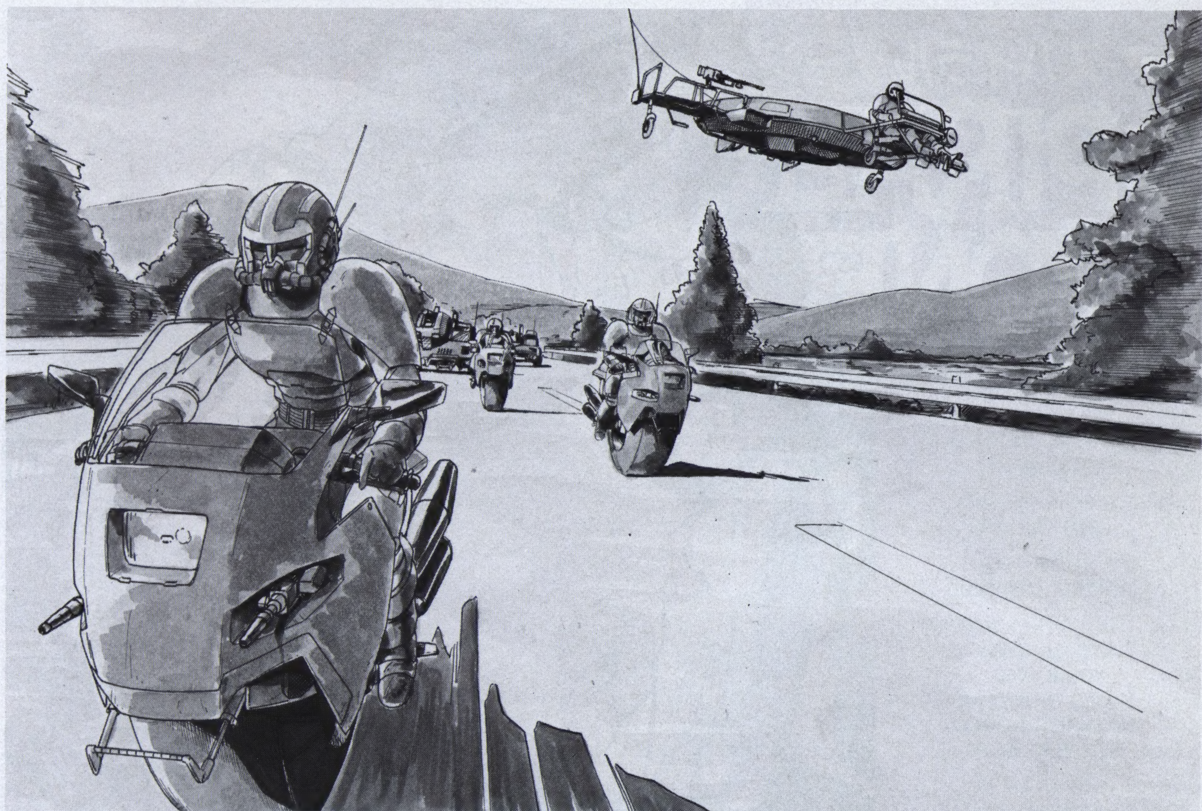
〝季節の変化を感じるなんて、ずいぶん久しぶりだ〟

まさしく、ツーリング日和であった。

〝ずっとこのまま走っていたいな…〟

現実から逃避しようとする麟の心を、レシ





ーバーから流れる声が引きもどした。

「鱗！　遅れてるぞっ!!」

後方を走るマッドレミングに乗った出渕の声だった。

鱗は小さく舌うちをして、わずかに前を走るヒラタのモノシードと並んだ。

何度となく繰り返された出撃で無限軌道(キャタピラ)にアスファルトをけずりとられた道路は、前方で大きなカーブを描き、ゆるやかな勾配の上り坂になっていた。この先の峠道を越えると、世界を侵蝕する〝ゾーン〟がある。

ラベンダー色に染まる未知の空間。既存の物理法則が成立しない非空間〝ゾーン〟。それが彼らの敵であり、戦場であった。

彼らの戦いは、ひどく効率の悪いものにならざるを得なかった。

なにしろ〝ゾーン〟は、あまりにも巨大すぎた。〝ゾーン〟を直接攻撃しても、海に向かって石を投げつけたほどの効果もなかった。そのため、〝ゾーン〟に発生する〝無数(レギオン)〟と呼ばれる物体が、当面の攻撃目標に選ばれた。

そして、このレギオンは……

〝ゾーン〟についてと同様、レギオンについても詳しいことは明らかにされていない。仮説では〝ゾーン〟の気が凝縮して物質化したものがレギオンである、と考えられた。実際、レギオンを破壊すると、その場の〝ゾーン〟の影響力が弱まり、時には、その区域(エリア)の〝ゾーン〟が消失することも確認されている。たとえるならば、レギオンは通常世界から入りこんだ異物に反応して、非空間(ゾーン)が送り出す抗体のようなものといえた。

つまり、攻撃目標となるレギオンは〝ゾーン〟内で活動する人間の刺激によって発生するのだ！　——人類は、自分たちが戦う敵を自分たちの手で作り出さなければならないという矛盾に直面していたのである。

人類は、己のしっぽをくわえこんだ大蛇さながらに、戦いの泥沼で身をよじり、のたうっていた。

ほとんど日課(ルーティン)となった定期出撃は、おもに〝ゾーン〟内のレギオンを絶やさないための作業とさえいえた。定期出撃で生まれたレギオンをSFG隊員が片づける——それが、ここしばらくの、対〝ゾーン〟戦のパターンだった。

鱗はSFG隊員になるまで、こうしたことを知らずにいた。士気の喪失につながるという理由はともかく、一般兵士にこのことを秘密にした軍の判断は、たぶん正しいのだろう……ハイパーボクサー歩兵として〝ゾーン〟の中を駈けずりまわっていた、ついこの間までのことを思い出して、鱗はそう思った。ただでさえ苛酷な〝ゾーン〟の中で、自分たちの役目が、藪をついて蛇を出すことだと知らされていたなら、おそらく、発狂する者が続出したに違いない。

しかし、その朝の定期出撃で状況が変わった。〝ゾーン〟にレギオンとは別タイプの敵が存在する可能性が示されたのだ。今回の〝ファイアーボール〟の任務は、レギオン掃討ではなく、新たな敵の確認と、その情報収集だった。

世界と〝ゾーン〟とを分かつ限界線(ターミネーションライン)を越える瞬間、水中にダイブしたときのような軽いショックがあった。日常世界がささやかな警告をこめて、そっちへは行くなと、ちょっとばかり鱗の背中を引っぱった……そんな感じだ。刹那、視野が狭まり、それが元にもどったときには、もう〝ゾーン〟の中にいた。

これは鱗にとって初めての経験だった。歩兵として、輸送車輌で戦場に運ばれていたときにはなかったことだ。これがSFG隊員—モノシードライダーとしての初陣であることを、鱗はあらためて認識した。

「若菜だ。この先で二班に別れる。ヒラタとノーマンはブロンコの後からこのまま国道を、出渕と鱗は俺と旧道に入る。合流地点はM市の少し先、T橋のあたりだ」

若菜が指示した合流地点は、かつて麟の所属した中隊が全滅したあたりだった。あれからすでに一ヶ月近くたつ。そのときの記憶とともに甦りそうになる恐怖を麟は必死でおさえた。
「麟、脈拍が上がってるぞ、どうした?」
マッドレミングで、麟のスーツに取りつけられたバイオセンサーをモニターしている出渕が、珍しく心配そうな声できいてきた。
「大丈夫です」
そう答えたが、あまり大丈夫ではなかった。〝ゾーン〟は侵入者の自我を反映して、たえず変化を続ける。したがって、彼らはたえず変化を予測して行動しなければならなかった。変化への対処が遅れたときには、死が待っている。
同じ理由から、ここでは不安定な自我を持つ者はひどく危険な存在となる。そのために兵士たちは出撃前に自我強化催眠を施されるのだが、この日の麟はナーバスになりすぎていた。
さらに悪いことには〝ゾーン〟の中で彼らのレーダーは役に立たない。SFG隊員は高速で移動しつつ、あたりの変化に気を配り、同時に、突然姿を現わす敵にも眼を光らせていなければならない。
麟は極度に緊張していた。
しかも、彼の身を包むブルソリッドスーツは機動性を優先させるために、かなりの装甲を犠牲にしている。ぶ厚い歩兵用のスーツに較べて、なんだか頼りないような気がして、それがまた麟を不安にさせた。スーツの強度が問題になるのは衝撃に対してであり、〝ゾーン〟の特性とは無関係だ、と頭ではわかっていても、どうしようもなかった。
「チーフ、麟の様子がおかしい!」
「ブロンコを呼んでおけ。麟、いいか、落ちついて、よく聞け。たいしたことじゃない」
若菜が麟の横にモノシードを寄せてきた。ギラギラ光る油を浮かせた、赤さびた水たまりをタイヤが蹴散らし、飛沫をとばした。
その雫が麟のスーツにかかると、スルスルと伸びて濡れた髪の毛のように麟の腕にまとわりついた。
麟は、以前、これと同じ光景を見たことがあった。ハイパーボクサー歩兵だった最後の日、彼の中隊がレギオンの猛攻をうける直前仲間が踏んだ水たまりの水がはじけ……
「スーツの温度調節（テンプ・コンディショナー）をレベル2に落とし」
麟のヘルメットの中で語りかける若菜の声が遠のいた。
次の瞬間、モノシードが跳ね上がるほどの衝撃が襲ってきた。そして、〝ゾーン〟に侵蝕されながらも、なんとかそのシルエットを保っていた家並が、すさまじい土ぼこりとともに崩れ落ち、そこにレギオンの集団が姿を現わした。レギオンは常に人間の兵器を模倣した形態をとる。麟たちの眼の前に現われたそれらは、まるで麟の心を覗いたかのようにハイパーボクサー歩兵の姿を型どったものだった。そのうえ、中の何体かはヘルメットをはずしており、その幾つかには麟の見知った顔もまじっていた。それらのすべてが爛れ、膿み崩れたようなレギオン特有の醜悪さでおおわれていることが、麟を逆上させた。
悲鳴にも似た雄叫びを上げ、麟はモノシードに装備された二門の12ミリマシンガンを連射して、レギオンの群れに爆進した。
歩兵タイプレギオンは、反撃のそぶりも見せず、ゆらゆらとその上体を揺らめかせながら前進してくる。
「もどれっ!」
若菜が叫んだとき、麟とレギオンの間にはあまり距離が残されていなかった。
麟はレギオンの群れに突っ込んだ。ワイドなタイヤが人型のレギオンを踏みつぶし、あたりに黄緑色の筋肉組織のようなものを飛び散らせた。が、それでモノシードのスピードがにぶると、レギオンたちは麟をひきずり降ろそうとして、わらわらと手を伸し、群がり寄ってきた。
マッドレミングの出渕が主砲で麟を援護した。
弾着の閃光と降りそそぐ土くれの中、麟は夢中でモノシードを駆りたてた。もはや攻撃どころではなく、レギオンの群れから脱出することで精いっぱいだった。
降りそそぐ土くれが、ドロリとした黒い液体に変化して、麟の視界をさえぎった。
が、どうにか脱け出ようとしたとき、まき上げたレギオンの装甲がタイヤとマフラーの間にはまり込み、モノシードは激しくスリップした。
麟は前方に放り出され、自分の方に歩いてくるレギオンの前に降下してきたブロンコとレギオンを蹴散らしながら近づいてくるマッドレミングを視界の隅にとらえて、気を失った。



はにかんだような笑みを浮かべた加藤が、麟を見おろしていた。
「やあ、とんだ武勇伝だったな」
仮宿舎の中だった。麟は横になっていたベッドの上で、静かに上体を起こしてみた。
「どこもなんともないそうだ。あとで出渕に礼を言っとくんだな。あいつがおまえをマッドレミングに引きずり上げたんだ。でなかったら、今ごろは……」
「ブチさんか……イヤな人に助けられたな。また、どやされそうだ……」
「そんなこと言うもんじゃない。誤解されやすい性格だが、あれで結構、いい奴なんだ。ただ、ちょっと、今時めずらしく、まじめすぎるんだな。それに……」思い出し笑いをするように顔をくしゃっとさせて、言葉を続けた。「あいつは、今度のことでどやしつけたりせんよ」
「どうしてです?」

「つまり……出渕も初陣のときは、おまえと同じだったということさ。だから、おまえにバイオセンサーをつけさせようと提案したのも、あいつだった」

麟はポカーンと口をあけて加藤の顔を見た。

「まさか……」

「嘘じゃない。だが、本人に確かめようとしたりするな。奴は初陣でパニックを起こしたことを人生最大の汚点だと思ってる」

「うーん、ブチさんを見たら口がムズムズしそうだ」

「バカ。いきなり撃たれても知らんぞ」

言ったら、ほんとに撃たれそうな気がした。

「おっと、そうだ。これ……」と、加藤が足元に置いてあったステンレスの保温ポットを麟に差し出した。「ギグがな、おまえに差し入れだそうだ」

ポットを受け取ってフタを開けると、コーヒーの香りが鼻腔をくすぐった。インスタントではなく、本物のコーヒーだった。

「ほぉ、貴重品だぞ、これは……どこで手に入れたか知らんが……ギグはいいやつだ」

感心したように真顔でいう加藤がおかしかった。加藤にいわせると、みんないいやつになってしまいそうだったが、ギグに関しては麟も彼の言葉に同意したかった。

麟が仮宿舎を出ると、モノシードの前でギグが工具を片づけていた。そのモノシードをまじまじと見て、麟が驚いたような声を上げた。

「これ、俺の……!?」

「おう、マフラー取っかえといてやったからな。他はなんともなさそうだし、これですぐ使えると思うぜ」

得意そうにギグがいった。

「こいつも無事だったのか……」

「なんだ、聞いてなかったのか? ジェレミーがブロンコから飛び降りて、おまえのかわりにこいつを転がしてきたんだぜ」

「そうか……みんなに世話になったんだな」

「ま、持ちつ持たれつ。〝ゾーン〟でならいつか借りを返すときが必ず来るって。それからな、おまえ、交換したマフラーの代金はちゃんとはらえよ」

「わかった。ツケといてくれ」

「ったく、うちは現金取り引きなんだけどね」 くしゃくしゃっと頭をかくと、麟が手にしたポットを見て、ギグの表情がちょっとくもった。「それ、うまくなかったか?」

「いいや。だからさ、一緒に飲もうかと思って」

「わい! そいつは最近まれに聞くいいアイディアだ。ちょっと待て、オレな、うまいクッキーも持ってるんだぜ!」

ギグのDモニター(デザート)を木影に移し、その上で二人はコーヒーを飲んだ。

「おまえ、イズブチの妹に〝ゾーン〟の案内をしてやるって言ったんだって?」

唐突にギグに言われて、麟はあやうく、せっかくのコーヒーを吹き出しそうになった。

「冗談だったんだってば!」

「ふうん……なんてったっけ、あのコ?」

「由良」

「美人だね」 麟の顔色をうかがうように横目で見て、ギグが言った。「でも、おまえフラれたよ」

「な、なんなんだよ、それ!」



「さっき、オレんとこにあのコが来てさ。……〝ゾーン〟に入ってみたいと言ったら、その案内役をリンがかって出てくれたが、どうも、あの様子ではあてにできない。だからこのDモニターに乗せて〝ゾーン〟見学につれてってくれって……変なコだな、あれ」

「断わったんだろうな」

「もちろん」

麟はそれを聞いてなんとなくホッとした。由良をつれて〝ゾーン〟に入るなど、火薬を抱いて火事場にとび込むにも等しい行為だと思えたからだ。

「でもな、ちょっとだけ迷ったんだ」

「迷った?」

「うん」 ギグは子供みたいに大きく頷いた。「だってさ、レギオンだけでも危ないのに、今じゃ、なんだかわけのわからんモンが〝ゾーン〟の中をうろついてるんだろ。オレも命はおしいもんな……」

「そうか、ジャンクパーツの回収が難しくなるんだな」

「商売しなきゃ食えないしな……で、考えたわけ。好奇心の強い金持ち相手に〝ゾーン〟見学ツアーってのを始めたら、意外ともうかるんじゃないか、と。限界線のすぐ向こう側あたりをチョロチョロ走ってりゃ、さほど危険もないしさ」

それは、確かにおもしろい思いつきだった。金にはなるかもしれない。しかし……

「あんまし感心しないな。〝ゾーン〟に入ったら何が起こるかわからない。全く訓練されてない民間人と一緒じゃリスクが大きすぎる」

「だよなぁ……」

一人で生計を立てているギグには深刻な問題だった。ただでさえ小さなギグが、ますます小さく見えて、麟は思わず彼女を抱きしめてやりたいという衝動にかられた。

「……とにかく、絶対に単独行動はしないことだな。なんなら、俺から若菜さんに話して、俺たちと一緒に動けるようにしてもらおうか」

「ほんとか!? そうしてもらえると助かる」

「ああ、頼んでみよう」

「サンクス!」

猫のようなしなやかさで、ギグが麟の頬に軽く唇を押しあてた。一瞬、ベッドから脱け出したばかりの女の匂いがした。

しかし──麟の努力は報われなかった。若菜はギグがチームに同行することを、頑として許さなかった。

〝ファイアーボール〟チームは索敵行動を繰り返した。にもかかわらず、彼らは未知の



敵に出会えずにいた。

このころから、一般兵士たちの間に不吉な噂が広まりつつあった。〝ゾーン〟で〝虫(バグ)〟を見た者は、けして生還できない、という噂である。バグというのは、彼らが未知の敵にあたえた名称だった。

軍上層部はやっきになってこの噂を否定しようとしたが、現に、SFG第8分遣隊が原因不明の全滅をとげており、軍が懸命になればなるほど、噂は尾ヒレをつけて広がっていくありさまだった。

バグの正体をつきとめることは、一刻を争う急務といえた。

「チーフ、あまり深入りするのもどうかと思いますけどね。そろそろもどりませんか」

T川を越えてしばらくすると、ノーマンが言った。

「麟、帰りの分の体力も計算にいれて、まだ行けそうか?」

ノーマンには答えず、若菜がいう。

「行けます」

「バイオセンサーのモニターでは、そうは出ていません」

「行ける!」

「麟! つまらん見栄を張ることが、みんなの迷惑になると、まだわからんのか!!」

「よし、二人ともそれまでだ。これより、帰還する」

麟と出渕のやりとりに若菜が決定を下した。そして、一同が車首を転じようとしたとき、

「チーフ、どうやら、そうもいかなくなりました」

上空を飛ぶブロンコの加藤だった。

「11時の方向を見て下さい」

ラベンダー色の空に、彼らが初めて見るものがあった。

「ジエレミー、カメラを回せ」

「さっきから回してますよ。ズームいっぱいで見ると、なるほど虫みたいだ」

肉眼で見ても、その感じはわかった。その動きは、レギオンでは見られない。明確な意志のようなものを感じさせた。

「チーフ、3時の方向」

ヒラタがいうのとほとんど同時に、出渕が叫んだ。

「8時の方向から何か来ます!」

一同の両翼、およそ3キロほどの所から、すさまじい砂塵が吹きあがり、彼らめざして突き進んでくる。そこに、地上を疾走する何かがいるのだ。

「……多すぎる」

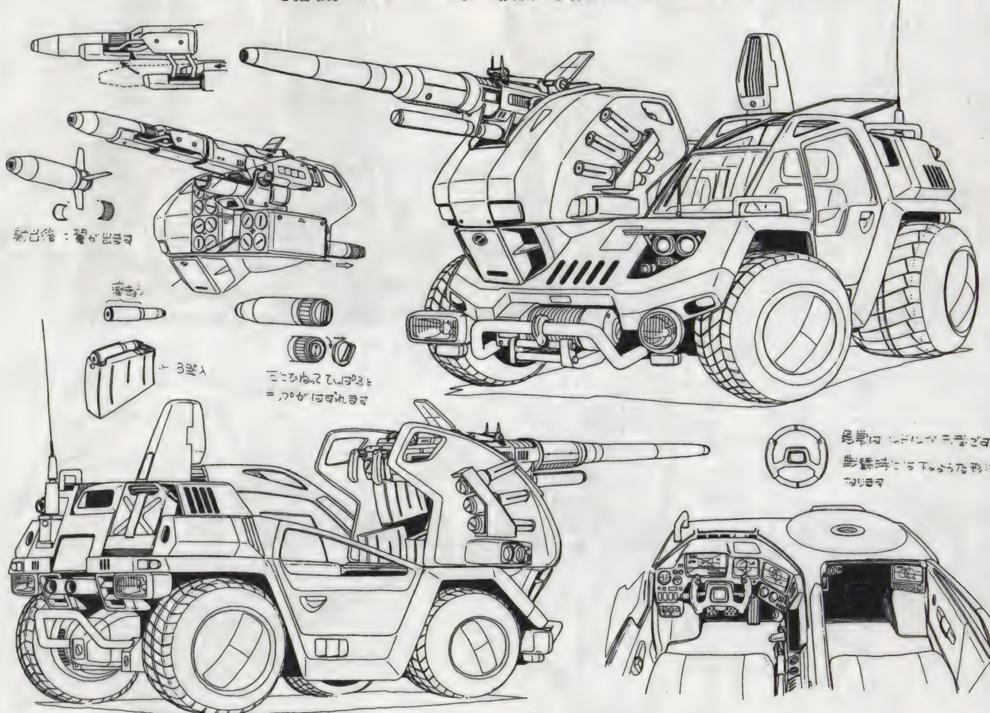
麟がぽつりと呟いた。

「全員、もどれっ! 退却ッ!!」

そのとき、〝ファイアーボール〟チームは多数のバグに包囲されつつあった。

つづく

次回〝戦闘〟




マッドレミング　4輪駆動軽装甲車。砲塔部分には、40㎜機関砲ないし、ミサイルランチャーを搭載。ガンナーがいない場合、砲塔はドライバーがリモコン操作する。

# 特撮とは何か?

自分が何なのか、今、何をしようとしていて、何をすればいゝのか?。こんな疑問は始終私を襲います。そしてこれが私が混乱した時に何時も帰る原点です。

高校生の頃私は阿部合成という人に絵を習いました。阿部先生は青森市長をした人の息子でしたが二科展に出品した絵が反戦絵画だとの評価を受けて戦争にかり出され、シベリヤ抑留から帰ったばかりの頃で、それは厳寒の雪道でした。すさまじい迫力に充ちた画家でした。私と今井君の二人は学校からブルータスの石膏像を梃に積んで阿部先生の家へ運び、毎日の様に学校の帰りデッサンの勉強に通いました。戦後間もない食べる物もない頃の話です。私も画家になりたいと思っていましたが夢とか理想とか、そんな事を考えるのが夢だといった時代でした。

ある日二人の男が私達がデッサンをしている部屋に入って来て、このブルータスはシーザーを斬る為の刀を抜く前か、斬り終った後かで口論をしているのです。あげくの果てにデッサンはいいから明日油絵をもってこいというのです。次の日私達は自信作を一枚づつもって阿部先生の家へ行きました。二人の男はこんな混迷の時代に絵を描こうとする私達を激励してくれました。私には「君はロマンチストだから、日本の浪漫の為に命かけてがんばってくれ。」と言われました。

この二人の男は詩人の山岸外史と太宰治でした。そして阿部先生の絵の教育は「描きたいものを描け、絵を作る技術など要らない、描きたいものを追いつづけろ。」といった厳しさでした。この三人の大人が私に教えてくれた事は、ホンモノとは何か?を常に問い続けて、ホンモノの人間になれ。という事でした。

私は一生この日の事を忘れる事ができません。だから混乱して自分を失ったり、調子に乗って勢いづいたりしていた時、原点に帰ります。

一九五〇年、私は東宝特撮を飛び出して、東映特撮へ行きました。待望の特撮美術監督としてです。ここでは自分の仕事が出来る筈だと思い大いに張り切っていました。丁度三十才でした。

東宝では円谷英二監督と渡辺明さんのいうことを聞いていればいいのですが、ここでは違います。作品毎にいろんな監督、カメラマン、デザイナーと打ち合わせです。それが全部カラーが違うのですが一貫しているのは、特撮不信です。特撮にはリアリズムがないと言うのです。特撮はオモチャ遊びだ、と言う人までいました。私は円谷特撮の概念を離れて特撮の原点をさがしました。

特撮とは映画製作の過程で、どうしてもこんなカットが必要なのだが本編では撮影不可能だから特撮が撮る。これが原点です。僅か一カットの場合もあるし百カットを越す場合もありますが、本編の間に編集されて完全に映画として、つながっている事が条件です。つまり完全にリアルでなければなりません。

リアルに足りないのもいけないし、リアルを越えているのもいけないのです。

これを映画の為の特撮、と呼んでみましょう。

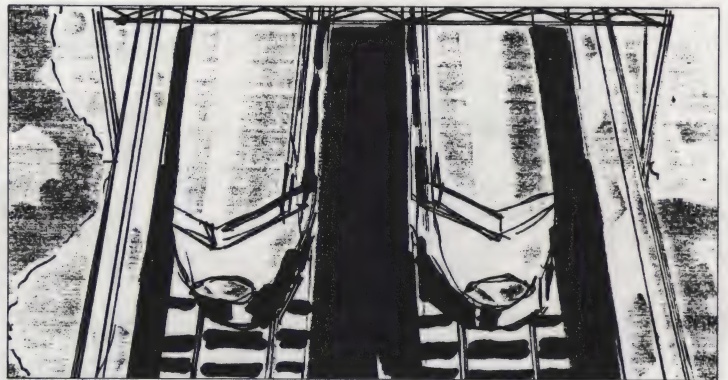
これに相対するのが特撮の為の映画です。こちらの場合は、リアルに足りないままにリアルを越えようとしている場合が多いのです。

それでは特撮のリアリズムとは何でしょうか。例えば一軒の家を写真で撮ると、それはリアルです。同じ家を画家が写真の様に描くとそれはリアルでありません。魂が抜けた、・・・・なきがらの様な絵になります。主観が入っていないからです。画家は自分の主観を表現する為に一軒の家を素材にしてキャンヴァスの上で再構成しているのです。それは絵の話、映画はそうはいかない。そうでしょうか?

映画も画面である事は同じです。画面のリアリズムを求める為には自然の何分の一のミニチュアー化だけでなくて、自然の再構築が必要なのです。例えば本編で撮影不可能なヒロガリを出そうと思ったら、ミニチュアーに遠近法をつければ無限にひろがるのです。この遠近法セットについては又書く事として、特撮セットもリアルである為には、ある街をただ何分の一かに縮めた縮尺セットでは、その街の生活感が出ないのです。画面の中に、その街をどうとらえるかが問題なのです。つまり出来たセットをカメラマンがどう撮るかではなくこう撮りたいからこんなセットを作ろう、という姿勢がリアリズムに近づく姿勢だと思います。コンテが凡てなのです。

東映では私は約四〇本位、映画の為の特撮をやりました。最初驚いたのは「殴り込み艦隊」です。予算の割にやる事が多く、木村省吾氏の発案でスチール写真をのばした軍艦を作り、その写真を手前にして奥からミニチュアーの0戦を飛ばしました。それなりのリアル感がありました。こんな手もあったのか、と私は学びました。

「新幹線大爆破」では私はこの手を使いました。これは長さ百メートル位の奥が高く手前が低い大オープンセットでした。撮影は殆んどレールの間から撮るコンテですが、レールの防音壁の外は浜松の町です。レールと手前



▲S(シーン)356、C(カット)5。フカンでとらえたショット(シュノーケル)。



▲S358、C1。梯子でつながって一緒に走る109号と救援車(シュノーケル)。

Ⓒ東映

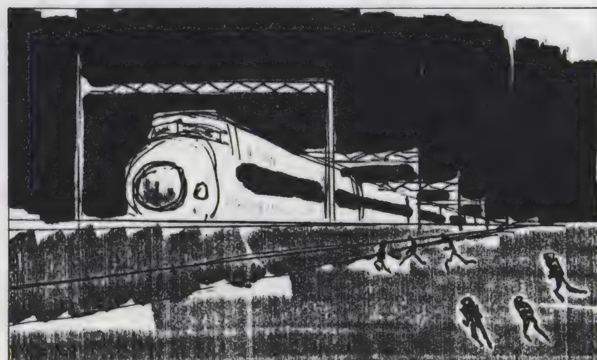
▲浜松駅付近を設定して作られたミニチュアセット。後方のビル街は、精密なパース計算を行ない、切り抜いた写真を建て込んでいる。



▲ミニチュアに見入る、出演者の高倉健と宇津井健。大きさがよく判る。



▲ミニチュアの新幹線109号。



▲S361、C14、合成カット。停車した109号にかけよる警官たち。

の何軒かと浜松の駅だけを丁寧にミニチュアーセットを作って、浜松の町はスチール、カメラマンが一軒づつ撮って来てくれたビルを私の計算の通りに一軒づつ白黒写真で焼いてこれを切り出しにして立てて、必要な所だけ油絵の具で着色しました。リアルな浜松の街が出来ました。ミニチュアを作ったらこんなにリアルにならなかったでしょうしその必要もありません。コンテがきまっているからです。

更にこれはシュノーケルという新しいカメラで撮ったのが良かったのです。シュノーケルというのはマッチ箱位のカメラです。新幹線は正面が十五センチ幅の高さ十八センチ、二十分の一のミニチュアーでした。シュノーケルだからこの小さいミニチュアーよりも更に低い位置から撮れるので迫力が出るのです。普通のカメラはどんなに低くかがんでもこのミニチュアーより高いから見おろした感じになって、迫る力が欠けるのです。

MJメモリアル・ヒーロー・コレクション2

# 「超人バロム・1」

## 「ゴルゴ13」のさいとう・たかお原作による変身ヒーロー!!

■放映期間／昭和47年4月2日〜11月26日(全35話)、■製作／東映、よみうりテレビ、■脚本／伊上勝、滝沢真理、島田真之ほか、■監督／田口勝彦、小山幹夫ほか、
●「ゴルゴ13」(ビッグコミック)で知られる劇画家さいとうたかをの原作劇画は『ぼくらマガジン』(講談社)に44年から45年にかけて連載された。二人の少年による合体変身やドルゲといった設定はそのままだが、テレビ化によってキャラクターデザインは大幅に変更された。
第21話以後に登場するクチビルゲ、ヒャクメルゲ、ノウゲルゲ、ウデゲルゲといった魔人達のグロテスクさは特撮ファンの間で今も語り草となっているほどだ。



▼正義の番人コプーは木戸猛と白鳥健太郎にバロム・1の正義と友情のエネルギーを与えた。コプー染色体を授っている二人は、友情の〝バロム・クロス〟によって正義のエージェント、バロム・1に変身できる。





▶悪によって宇宙を支配しようとするドルゲ(中)は、自分の体内にあるドルゲ菌を動物や悪人に注入することによってドルゲ魔人を作り出す。左端は、ドルゲ魔人第1号である深海魔人オコゼルゲ。上の写真は、ドルゲが人間の姿に化けたミスター・ドルゲ(室田日出男)。

◀バロム・1の右腰にある"ジェットボップ"は、猛と健太郎の姿でいる時はドルゲ魔人探知器の役割りを果たす。さらに、バロム・1の足となる万能カー"マッハロッド"へと変型する。（ホビー事業部の当時の商品としてはこの光ってブザーが鳴るボップがついた、バロム・1ベルトやホビニカのマッハロッド等があった。まだ持っている人、いるかな？）



▼左側から見たマッハロッド。改造されたベースマシンの車種が分る人いませんか…（右端から見た写真、バロム・1の腰にボップがついたまま…やばいなァ）

## ●バロム・1のプラモ、おぼえていたかな…？

バロム・1はちゃんとプラモもありました。当時はバンダイ模型というブランドでしたが、価格500円でゼンマイ走行のマッハロッド（スケール約20分の1）と価格250円で、15分の1スケールのフィギュアにミニマッハロッドがついたキットがありました。再販は一度もありません。





▲ドルゲ魔人の戦闘員アントマン。シンプルながら不気味なキャラクターだった。



▶左が木戸猛、右が白鳥健太郎。健太郎を演じた高野浩之はこの手の番組によく出る子役で、寺山修二の映画〝田園に死す″（'74）にも出演した。

お詫び――先月号のこのコーナーで、「海域剛」は「海城剛」のまちがいです。訂正するとともにお詫びします。

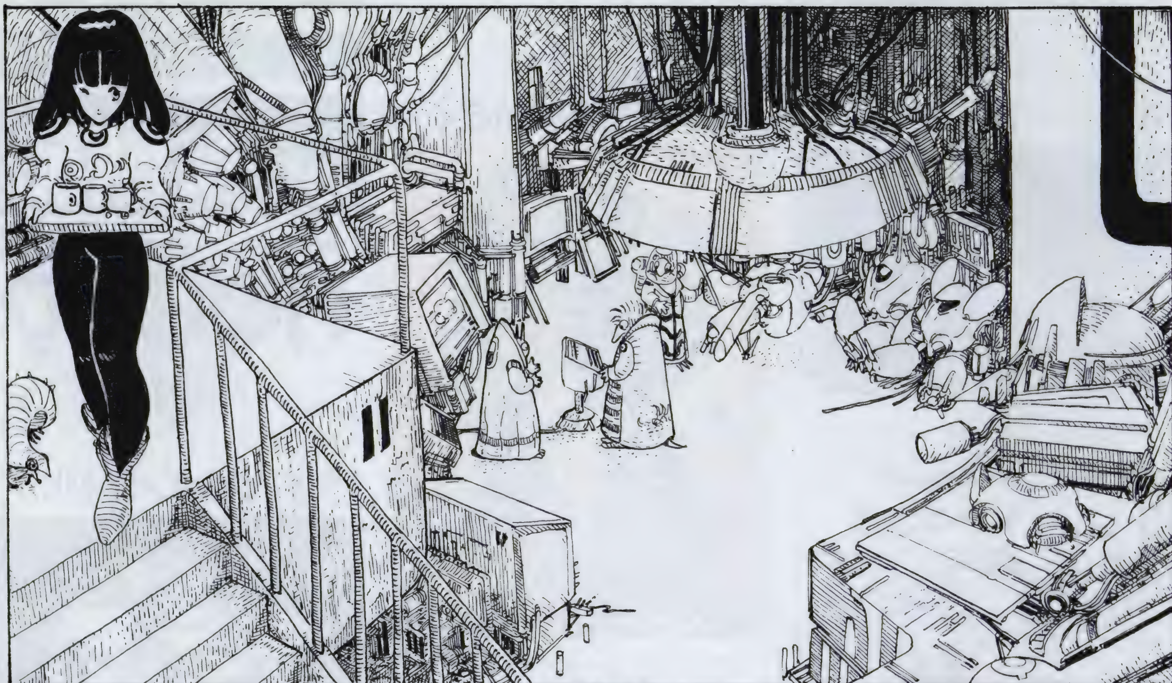
# ELIA IN OTHER DAYS IV

Presented by
KEISUKE GOTO
HIROYUKI KATO



## ペトリューシュカ無重力公園

ペトリューシュカの近くにある無重力地帯 巨大な無重力気胞が.空間をとりかこみ大レジャーランドとなっている。
エリアちゃんとサパーズ・レディは.そこでユーイたちをみつける。
「あら.あなたたち.昼間見ないと思っていたら.こんなところで"何してるの」とレディ
「いやっはっはっ ちとバイトを」とデューイ
「バイトしたお金で 何買うのよ.エネルギーパックは定期的にあげてるし、何の不自由もないのに」
「あっわかった! 機動活性剤買うんでしょ.あれ 副作用があるのよ。」とエリア
「うっ…」 機動活性剤とは.ロボットのエネルギーパックに投与すると、人間と同様.覚醒作用がある
カプセルのことである.やみつきになると大変である.「あなた ロボットやめるの.それとも機動活性剤やめるの?」



↕ ヒューイ・デューイ・ルーイに新型のAGDウィングを取りつけようとしているログジィ博士。(ここはヘペトリュージュカ機甲軍のログジィ博士専用の工房である。

↓ **ダルタニアンα**

ログジィ博士が、ヘペトリュージュカ機甲軍から開発費をせしめるためにつくられたはったりメカ。左肩のパーツが砲らしきものは、ロケットノズルを改造した火球砲(ほとんど使いものにはならない)

← ダルタニアン出品の際にかりだされたエリアちゃん、軍上層部はみな女子高生ファンである。

現在のダルタニアンはαをベースにトレーラータルカスのインターフェース、AGDウィングなどを加え軽量化をはかったものだよ。

ハンドル
下におろして
使う。

AGD

ロボット兵の主力兵器となる
高出力チェーンスオード
ようするにチェーンソウ型の
剣である。

うーむ
アナクロだ!

# 6月新製品

## HOBBY

ホビー事業部

### 1 機動戦士Zガンダム ハイコンプリートモデル ガンダムMkII





ハイコンプリートモデルに、いよいよガンダムMkIIが加わります。スケールは1/144、プラモデル並のディテールとプロポーションが組み立て済みで楽しめます。コクピットハッチ開閉自由。胴は左右に回転可動。関節部にポリキャップ使用。両腕はプラモデルのものと互換性があります。ビームライフル付。パッケージのデザインがかわります。

★6月発売予定　★小売価格￥2000

### 2 機動戦士Zガンダム 1/144 ガルバルディβ



ライラ・ミラ・ライラが搭乗した機体がガルバルディβである。キットは1/144スケールで再現。肩、足のつけ根、足首等各関節可動関節部はポリキャップを使用しています。シールド、ビームライフル付、ビームライフルをにぎるための右手首付。胸から肩にのびるパイプはビニールチューブ製。モノアイ上下可動。コクピットハッチ開閉選択式。

★6月発売予定　★小売価格￥500

### 3 機動戦士Zガンダム 1/100 ハイザック



連邦軍のモビルスーツ、ハイザックを1/100で再現しました。成形色は4色なので塗装しなくても、ほぼ設定通りの配色となります。指関節は5本とも可動。各関節部およびパイプ類は軟質樹脂採用。ランドセルのスタビライザー、センサー放熱板可動。武器は、オプションシールド、ザクマシンガン改、ヒートホークが付いています。腰のサイドカバー可動。1/48のジェリド・メサ付。

★6月発売予定　★小売価格￥1200

### 4 パロチェンマン ガメラ



表面ディテールはザ特撮コレクション並。ギャオスと山のおまけ付。ゼンマイ走行。

★6月発売予定　★小売価格￥400

### 5 パロチェンマン ドラキュラ



試作品

永遠のキャラクター、ドラキュラが加わります。ゼンマイ走行。

★6月発売予定　★小売価格￥400

### 6 ロボチェンマン ガンダムMkII



試作品

ガンダムMkIIがかわいくデフォルメされています。ライフル、バルカンポッド付。

★6月発売予定　★小売価格￥400

### 7 北斗の拳 3人セット



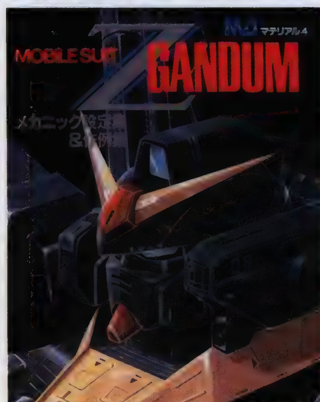
頭と腕に軟質樹脂使用。まげたり伸したり自由自在。腰とヒザの関節可動。武器付。

★6月発売予定　★小売価格￥300

★模型情報・別冊「機動戦士Zガンダム」「夢幻境戦士エリア」の直送を希望される場合は、600円(送料込み)・メカニカルファイルは500円(送料込み)を、現金書留か郵便為替で、〒424 静岡県清水市袖師町702 バンダイ静岡工場 MJ編集部 まで。希望する商品名と自分の住所を明記して下さい。

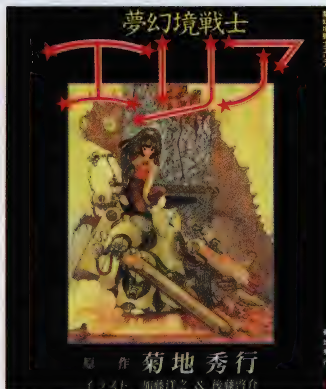
# 模型情報

## 1 機動戦士Zガンダム




MJマテリアルNo.4。小田雅弘氏をはじめとする一流スタッフ執筆の豪華な内容です。
★6月上旬発行 ★小売価格¥480

## 2 夢幻境戦士エリア




人気SF作家・菊地秀行原作。イラストたっぷりのニュータイプSF小説です。
★6月上旬発行 ★小売価格¥500

## 3 メカニカルファイル




バンダイのキットについているファイル専用バインダー。限定版シャアザクファイル付
★6月中旬発売 ★小売価格¥350

## 3 電子ジャスピオン



肩やヒジ、ヒザ等の各部の関節が可動。
★6月発売予定 ★小売価格¥2980




ポピー特機事業部




ハイザック、リック・ディアス同時発売です
★6月発売予定 ★小売価格 各¥100




ガルバルディβ、リックディアスも登場。
★7月発売予定 ★小売価格 各¥100



鳥山劣君デザインの超デフォルメシリーズ。
★8月発売予定 ★小売価格3体¥100

## 8 センサロボ ベートーベン



音楽が大好きというヤングのインテリアにピッタリのセンサロボ登場です。ラジカセ、ステレオ等のスピーカーの近くにおいて音楽を鳴らすと、音センサの働きにより、ベートーベンが腕や首を動かして、いかにも指揮をしている感じが楽しめます。組み立て簡単、塗装済み。単3乾電池2本使用(別売)。

★6月発売予定 ★小売価格¥3200

POPY

ポピー特機事業部

## 1 アイアンウルフ



ポピニカシリーズ。ジャスピオン付。
★6月発売予定 ★小売価格¥1980

## 2 ガービン

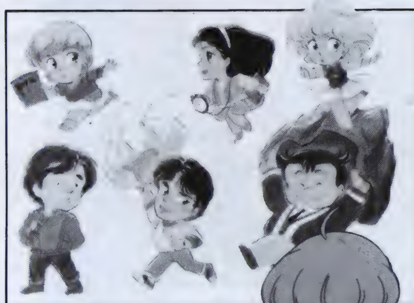


ジャスピオンに登場するメカ。DXポピニカ
★6月発売予定 ★小売価格¥2980



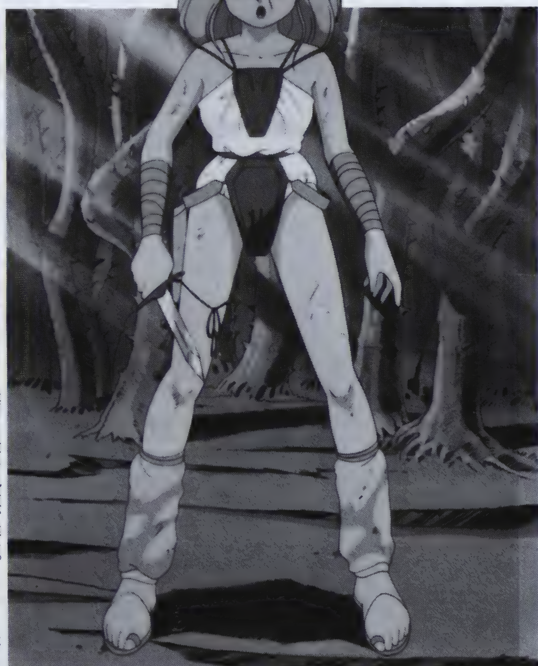

# エモーション・ビデオフォーラム





MAMI

クリィミーマミ・オリジナルビデオ第2弾「ロンググッドバイジャケット表4のイラスト。高田明美先生描きおろしデフォルメキャラクター達が実に楽しい。



今回の「マミ」は、SFXヒロイックファンタジー映画の撮影現場が舞台。こうしたマミのあられもない姿が……。

## 発売間近、クリィミーマミ・オリジナル「ロンググッドバイ」豪華特典に注目!!

大人気マミシリーズ第2弾「ロンググッドバイ」がいよいよ完成、6月15日の発売を待つばかりとなりました。

時間は50分。当初16㎜、モノラルで製作の予定でしたが、質の向上をと考え、35㎜、ステレオ音声といった劇場映画並みのクオリティでの登場となりました。

しかも、今予約すれば、もれなく240ページにわたる「マミブック」付。これは、幻のNG集もついた絵コンテ設定資料、カラーイラスト、そして伊藤和典先生の書きおろしSF付の豪華本で、ジャケットサイズ。書店では絶対に手にはいらない、EMOTION ならではのプレゼントなのです。(残念ながら、この特典はテープのみでディスクにはつきません。)

7月21日の「ミンキーモモ」オリジナルにも同様のミニブックが特典で付きます。こちらも無論、EMOTIONオリジナルの豪華本。

ビデオとこの本があれば、フィギュア作りが一層楽しくなることうけあいです。予約はお近くのEMOTION取扱店で。

## ITCメカ・グラフィティ企画中！第1弾はあのサンダーバード!!

毎週火曜夜放映中の「テラホーク」。そのプロデューサーのゲーリーアンダーソンが、妻シルビアと最も油の乗った時期に製作していたのが「サンダーバード」だ。

デレクメディングス総指揮による、すさまじいばかりのリアルメカSFX（特撮）が、今見てもすばらしい。そしてここに登場のサンダーバード2号を中心とした、ジェットモグラ号等の救助メカ、および「ゴング」（正式名はサイドワインダーという）、「クラップロガー」等に代表されるゲストメカ達の魅力も欠かせぬ人気要素となっている。

EMOTIONでは、これらメカの魅力を満載した大全集「メカグラフィティ」を企画中。人気メカの紹介はもとより、クローズアップ等でディテールを追及、モデル製作の参考資料としてもらおうというもの。テープと、静止画のきくCAV式のレーザー式ディスクで同時発売の予定で、7月末から8月上旬に登場！乞う御期待。

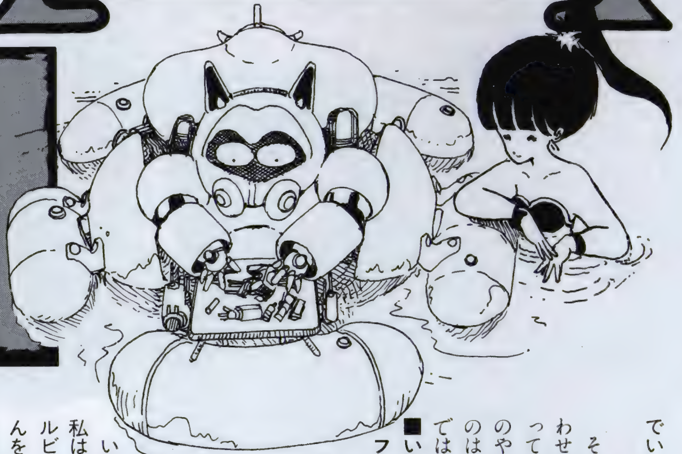
なおそれに先がけ、5月28日には、「クラップロガーの暴走」と「火星ロケットの危機」の人気2大作をノーカット、ニュープリントで収録した、サンダーバードシリーズ第5弾が発売されているので、巨大メカファンは必見の事。カバーイラストは、開田裕治先生。

※TV版収録シリーズの「サンダーバード」はもう一巻、ペネロープ特集にて、とりあえず休止の予定となっています。




超巨大パルプ製造メカ、「クラップロガー」をはじめ、サンダーバードのスーパーメカが続々登場の「メカグラフィティ」。(写真は好評発売中の「サンダーバード」ビデオテープ第4巻より)

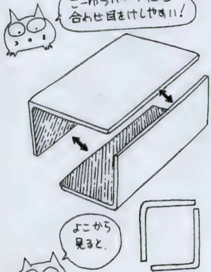
# プラモ個性派倶楽部



すっかり暑くなってきましたネ梅雨の前の青空を楽しみたい今日この頃です。（お昼のラジオ番組みたい）さてお便りは……。

■こうなるとイイね。

アマチュアモデラー（下級の下）の僕は、接着剤にパテ、紙ヤスリにめちゃくちゃ荒い鉄ヤスリ、カラーぐらいの材料しかなく、合わせ目を消すのは、苦労します。僕のような人間は、案外いると思います。そこで消しやすい（合わせ目）の部品を考えました。図のように、角が接着する部なら、楽でいいのでは?




東京都目黒区　倉石　修

そうなんです。この組み方だと、かなり合わせ目消しが楽になるんですね。プラ板を使って、手作りパーツをこしらえる時にも、このやり方は使われます。でもちょっと思ったのは、外部からの圧迫とか、ねじれに弱いのではないかという心配もあるのです。

■いまさらながらフルスクラッチについて

内部（?）も見えてしまうフードのような物を、プラ板で作る時、一つ作った上にもう何枚かプラ板を交互（図参照）に貼ると、角の所に案外強度がつくんです!!やってない人はぜひ一度どうぞ。私はこれで宇宙家族カールビンソンの「おとうさん」を作ってます。（この方法だと、プラ棒つかわなくても補強できるのよ）

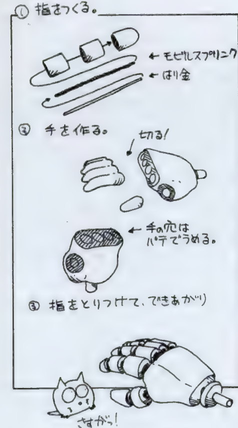



八王子市　小林　哉

本当はこういうやり方が、一番いいわけです。ついつい手を抜くためと、簡素化を狙ってプラ棒を補強に使いますが、裏面の見える物では接着面を隠せるので良い方法だと思いますヨ。

■動くぞ。

うーん、このごろのモデラーは、なんてアイデアに乏しいんだろうと思います。さて今回は完璧主義の人へのアイデアです。それは全可動の「手」です。まずプラ棒を指の大きさに切り、モビルスプリングの入る穴をあける。中にスプリングを通し、針金を入れる。キットの手首から指を切り取り、穴はパテでうめる。乾いてから指をつけるための穴をあけ、作った指をとりつけておわりだよ（今、スーパーザクを作ってるから、できたら写真おくるよ）

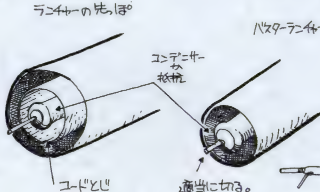



川崎市　ペンネーム日本男児

念のために、指の腹側を節目ごとに、くさび状に削っておくと、ちゃんと曲がる物にできます。

■リアルさ倍増

前略プラモの上より小田さんこんにちワ。我々は高一ですが「ニコちゃんプラモ同人会」というのをやっとります（ほとんど名前だけ）。モモが好きとか、ジャーマングレー以外使わんとかいっぱいおりますばい。さて改造ですが、図のようにLガイムのランチャーなどの先が、ガランドウなので、コンデンサーか抵抗機をさすことで「あラァァーッ」とよくなります。バスターのように大きいのは、コードをとじる物をうめてから、コンデンサーをうめればいいと思いますたい。皆もこれさえマスターすればプロたい!!小田さんめざせー!!

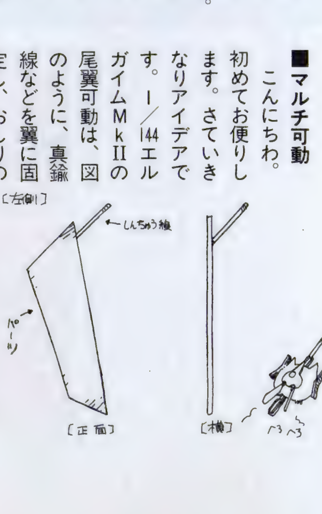



熊本市　緒方の光太郎

なんだかわかんないけど、男らしい文章だなァ。まあなかなかリアルっぽくなりそうです。でもバスターランチャーって、実体弾も発射するんじゃなかったっけ?他にも応用してみませう。

■マルチ可動

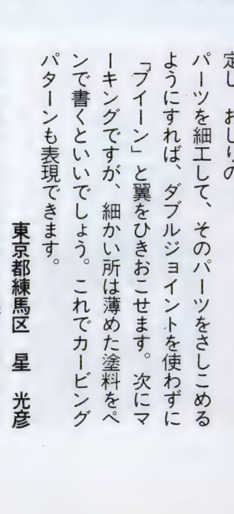
こんにちわ。初めてお便りします。さていきなりアイデアです。1／144エルガイムMkⅡの尾翼可動は、図のように、真鍮線などを翼に固定し、おしりのパーツを細工して、そのパーツをさしこめるようにすれば、ダブルジョイントを使わずに「ブイーン」と翼をひきおこせます。次にマーキングですが、細かい所は薄めた塗料をペンで書くといいでしょう。これでカービングパターンも表現できます。




東京都練馬区　星　光彦

真鍮線のかわりに、アルミ線を使ってもいいでしょう。アルミだと曲げたり戻したりが容易です。

モデラー一同



■ワンポイント講座

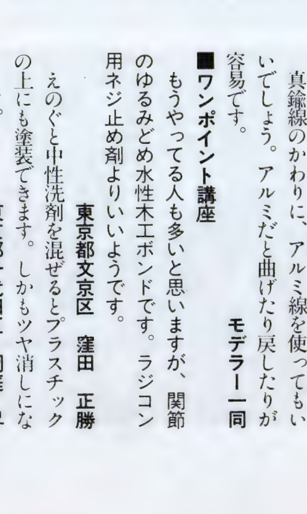
もうやってる人も多いと思いますが、関節のゆるみどめ水性木工ボンドです。ラジコン用ネジ止め剤よりいいようです。

東京都文京区　窪田　正勝

えのぐと中性洗剤を混ぜるとプラスチックの上にも塗装できます。しかもツヤ消しになります。

東京都千代田区　岡庭　昇

どちらも数年前に発見されたテクニックですが、発見は向上のたまものです。中性洗剤えのぐは、ウェザリングに使うと効果的ですよ。





HEAVY METAL

# GARAHM

1 144 FULL SCRATCH BUILD
TOMOYUKI ARAI MADE

今回のカラーページは、久々に新井君の新作が完成したので紹介しましょう。では新井君ドウゾ。

えーあいもかわらずヘビーメタルの1／144ガイラムです。ヤーマンらしいヘビーメタルで、たぶんファンの方も多いと思いますが、残念ながら、キット化されないとの事なので、一気に作ってしまったというわけです。寸法はエルガイムから割り出して作ってあります。ほとんどはプラ板による工作で、補強の必要な所は、裏側からエポキシパテをつめています。曲面の処理には、一部ポリエステルパテと、ハテを使いました。前回のヌーベルディザートでは、まったくの固定だったので、今回のガイラムは、関節を動かせるようにしました。肩、ヒジ、股、足首には、他のキットで余ったポリキャップをうめこんであるので、スムースに可動します。また、1／144エルガイムからライトブースターを流用して、取りはずし可能としてみました。割と早くに完成していたのですが、頭部の形状をMJマテリアルのガイラムの資料を見て、作り直したため、ちょっぴり発表がおくれてしまいました。また新作ができたら見て下さいネ。

というわけで久々の個人作品。この他にハルフトカイセスも完成しているのですが誌面の都合で載せられませんでした……


左が新造した頭部。マスク部分の面取りが大幅に変った





写真右2点のエルガイムは、東京都杉並区の嶋義信さんの作品。スケールは1／100?とにかくこれぞ「ヘビィメタル」です。Aテンプルを想わせるヘッドバランス、カービングのセンス。久々にホレた作品ですね。全体にパールカラーで仕上げ、目も光るそうです。カービングはもう少し細い方がよいでしょう。さて神戸市の篠崎裕介さんの送ってくれたのは「P(プラトニック)テンプル」とてもシャイなので戦闘に参加しなかったとか。本人はマトもな物を作れないと言っていますが、センスなかなか良です。










写真上は、神奈川県藤沢市の木村泰成(22)さんのRX－78－3ガンダムS(スペシャル)。GMスナイパー等を組み合わせて、今風のスタイルにしていますね。もう少し仕上げをていねいに。塗装もアクセントカラーを整理してみるといいでしょう。

写真右の2点は、江東区の武田省一さんのオリジナルガンダム。塗装のブルーがキレイです。フラット仕上げにするとか、ツヤを整えると、比較的キレイに仕上げられるのですね。












東大阪市の松川浩三さんの作品は、かなり新キャラっぽいガンダム。背中のトライアームムーバーが斬新です。以前掲載された野鶴君のエルガンダムと似ているとの事ですが、見てから作ったのではないとは御本人の弁です。これくらいまで形を変えると、かなり楽しめる物になりますね。仲々の良。





写真左と上は、大田区の佐藤由美(18)さんのエルガイムMkII。顔と胸が大幅に変っていてなかなか面白い感じです。右は大阪市の乾成裕さんのエルガイム。顔、肩、腹、股を改造。二連パワーランチャー、バインダー付。





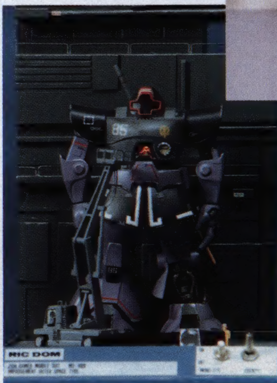



今月でオリジナルMkIIはしめきります。エルガイム、ガンダムMkIIの装備等の課題をヨロシク。宛先は、〒424静岡県清水市袖師町702バンダイ静岡工場模型情報「プラモ個性派倶楽部」まで。





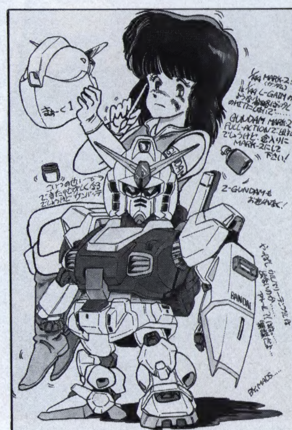
茨城県の川島幹男さんは迷彩塗装のザクキャノン。パターン塗装がとても上手です。




課題外投稿は、大田区の梶谷幸輝さんの1／144スキウレ。なかなか迫力のある作品です。もう少し工作と仕上げを勉強してみましょう。ぐっとよくなるハズです。

横浜市の長崎美治さんの作品は1／144リックドム。コンパクトディオラマですね。脚内部にはメカがギッシリ詰っているとか。旧キットでもじっくりとり組むと、かなり楽しめるという証明ですねェ。

# ふろーむ 模型少年&少女
Mo Ke i



神奈川県/比川久樹

**前**略バンダイさん、Zガンダムのほうは着々と進んでいるようですね。アニメと共に期待してます。Zガンダムもやはり1/144が主力戦艦のようですが(古い!)1/250のモデルも検討中だそうで、多大の期待を寄せています。私は小スケールで中味の濃いものが出るといいです。私のような歳(21歳)になると派手なプラモの箱を持ってレジに並ぶのは少々抵抗があります。そこで1/250モデルをBOXアートも小さく、HCMのようなしぶい箱に入れて出してほしいんです。そうすれば20歳以上のかくれモデラーにうけることまちがいなし。ストリームベースの川口さんも言ってましたが小スケールでしかもフルギミックのモデルを出して下さい。価格も少々上げてモビルスプリングや、金属パーツなんかも入れてくれると最高です。P・S MJバイファム最高でした。エルガイムも期待してます。では。

北海道/佐藤 賢哉

★21歳ではずかしいなどと言われてしまったら、32歳のワタシはどうすれば良いの?

**価**格の均一化」をしてほしい! というのは1/144スケールのヘビーメタルでも見られるのですが、キットの価格に500円、600円、700円ナリと3種類あります。ここで問題なのは、価格自体ではなく、また箱の大きさの違いではなく、キット内容(設計、金型、モールド、サービス)が格段に違うことです。ここまで話せば、おわかりのように本当は価格ではなく、〃内容の均一化がほしいのです。オージェ、グルーン、バッシュ、マークIIを例にとってみると、まずバッシュ、マークIIと比較して、オージェ、グルーンの可動部やセパレート部の少ないこと、加えて細部の省略など各100円の差でありながらTOTALな内容の差が激しすぎます。もし内容の均一化が行われれば、1/144キットの値は上昇するかもしれませんが、内容も確実アップされると思います。Zガンダムの予定にも1/250キットがラインナップされているとか!? 低年齢層にはそのクラスを贈るとして1/144シリーズを一段格上げしてもらえませんか? オージェ、グルーンとも私としては、大好きなメカキャラなのです。しかし今さら改修を望んでいるのではなく、以後、発売されるシリーズについて考慮、検討していただければ幸いです。P・S 模型情報も月刊バンダイになったんですし、少し余裕を出して目次など付くとすごいですね!

大阪府/ZENA

★月刊バンダイへの道はまだまだ遠い。何しろページ数が少ないので目次をつける余裕がない。

**第**1回プラモデル大学対抗戦開催のおしらせ——この度、学生模型協会(MGS)では第1回プラモデル大学対抗戦を開催いたします。各校の作品展示による審査、テーマ作品の競作等を行うほか、会期中に模型製作に関するアドバイスを行う予定ですので、多数の御来場をお待ちしております。■日時/6月7日(金)~6月19日(水)AM10~PM6(金・土6:30) ■場所/新宿小田急百貨店8F催事場 木曜定休 入場無料 ■主催/学生模型協会(MGS) ■後援/㈱小田急百貨店・宮沢模型㈱ ■連絡先/河崎 洋03(4ー1)3678

★プラモデルの大学対抗戦というのはなかなかおもしろそうですね。がんばって下さい。

**ど**うも、はじめまして。4月号の「成田亨SPECIAL DESIGN WORK」のダイマクション世界地図が私はとても気に入りました。拡大コピーしようと思っていたら、なんと、日本版OMNI誌5月号の付録に、このダイマクション・マップがあったのです! 早速買って机上のシートの下に見えるように敷きました。ウルトラ警備隊の司令室にあるのと、分割のしかたが同じになっています。(4月号に載っていたのは、分割のしかたがちょっと異なっています。組立て用なのでしょう)このようなところからもウルトラセブンのセンスの良さがうかがえます。(ポインターについての話を聞いてみたいな)ところで、最近の貴社のプラモデルは、とても良くできているが、エルガイムにしろガンダムにしろ何にしろ、無難なデザインで、全然面白味がない。もっと個性あるプラモデルが欲しい。このメカはこんな所がかっこいいと考えてメカデザイナーはメカをデザインするのだから、その点が失われない模型化をして欲しいと思います。これは非常に難しい注文と思いますが、貴社のレベルの向上から考えて妥当と考えます。今後とも頑張って下さい。では。

東京都/シャポシニコワ

★成田先生のページは編集する方も毎回楽しみにしています。今月も良いお話でためになります。

**ふ**ろーむをお読みのみなさん、こんにちは、僕はこの場を借りてバンダイさんにではなくて、読者のみなさんに言いたいことがあります。みなさんはこのページでナニを模型化しろ、ドコを動かせ、とバンダイさんに注文をつけていますが、何でもかんでもメーカー側にやらせてはつまらなくはありませんか。メーカーによって完全なキットとなったものを、ただきれいに作ることが目的となってしまっては、おもしろくないでしょう。良くないキットは自分自身で自分なりのセンスで改造するのも、模型製作上の一つの楽しみですよ。そこの君、ボクにはそんな技術はないと言いたいんでしょう。だったら今からガンバって技術を修得すればいいじゃないですか。そうすれば、フルスクラッチも夢ではありません。メーカーがなまじ完璧なキットにしようとするから誰が作っても同じようなものになってしまうんですよ。そりゃあ、いつぞやのジャーゴみたいに金型がつぶれたんじゃないかと思うようなキットは、改修する気にもなれませんが、一応の基本形さえしっかりしていれば、ディテールアップをする楽しみもありますし、動かしたい関節があれば、ちょっといじるだけで、すぐに動くようになります。その手順の方は個性派クラブにまかせるとして、とにかくメーカーばかりに責任を負わせるのはやめましょう。メーカーに注文をつけるのが悪いとは言いません。それもメーカーのためになると思いますが、もっと違った見方もしましょう。

岡山県/森村 正

★ふむふむ。少しでも良い物を作るのがメーカーの責任。それをさらに良くするのがモデラーの意地です。しかしジャーゴの頭はそんなにひどかった?

"仮面ライダー"キット化してください! 1/12スケール ポーズ固定で!!

東京都/弥枝しきる

**バ**ンダイさん!! やりましたねえ。「モモ」!「ラム」! 買っちゃいました! モモだけだけど。(ラムも買うつもり)店にあった時は感動しちゃいました! ズラリと並んでいるんだもんよーっ! 2・3ケ買おうと思ったんですけど、その時は少ししかお金がなくて1ケしか買えなかった。たまったらすぐ買いに行こうと思ってるんです! ついでにクリーミィマミもやって下さい! (突然ってきらいですか?) それからハイスクールラムちゃんもいいのですがきらめきラムちゃんは再販されませんか? では、バンダイさんのZガンダムにも期待します。最後に……ボツはイヤです。

横浜市/水沢 勝嘉

★エモーションでオリジナル・モモの発売を記念してプレゼント用に、新パッケージの1/12モモを準備しているそうです。詳しくはビデオショップで。

岐阜県/小松崎よう

**拝**啓バンダイ様、早速ですが、私の意見に耳を傾むけて下さい。(項目別に分けてみました。)第一番目、ふろーむ模型少年&少女のコーナーで「譲って下さい。譲ります。交換します」のコーナーを設けてはどうでしょうか。私事ですが、私としましては、手に入らなかったMJのバックナンバーをどうしても手に入れたいと思っている所存です。又、昔のバンダイ模型の復活を望めない今、この日本の中でバンダイさんの模型をずい分昔から買ってきて、いらなくなってしまった人たちとの交信の場としてMJ・FROMコーナーは大いに役立つと思うのです。自分勝手な意見の様ですが私と同じ様な意見をお持ちの方もずい分おられると思います。ページ数(FROMコーナーの)を1、2ページ増やしてこの様な項目を設ける事によってMJを通しての信頼関係は、よりいっそう発展するだろうと思います。ちなみに私は、MJ・VOL1~19、22~30、37、39、41、43、44、46、47、55、MSVハンドブックVOL・2、3を譲ってほしいと思っています。第2番目、もう大分前の事ですが、エルガイムやHCMについているファイルをとじる専用ファイルの計画は、おじゃんになってしまったのでしょうか?前々から楽しみにしていたのですが、いっこうに出る気配がありません。もし計画中の様でしたら、なるべく早く出してもらいたいと思います。又、新ファイルの様な・・・もろさだけは、おぎなってほしいものです。(何回かMJを見ていると折目がのいてくる!これは大問題だ)青森の平内君、共にガンバロウ!!第3番目 2000円の初代ゴジラの模型は絶版となってしまったのでしょうか?どこの店を探しても、全く見あたりません。どうか今一度「初代ゴジラ」を多量に量産して下さい。私は「初代ゴジラ」なしでは生きていけない。(これはジョーダン!)以上3つの事が私のバンダイ様に対する意見であります。乱筆乱文お許し下さい。なにぶんにも筆不精のものですから、それでは、バンダイ様のこれからの御発展をお祈りして、ペンをおくことにします。

香川県/佐藤 安浩

★メカファイルは今月発売です。譲ります・譲って下さいのコーナーは、こちらの時合で当分作りません。

**こ**んにちは! ということでMJマテリアル、エルガイムの次は何か決定していないようですが「Zガンダム」のメカ設定集も出して下さい。(だいぶ先になるだろうけど…)タカラさんは「デュアルマガジン」に毎回、設定資料を載せてあって、バンダイさんもこういうものを出した方が良いのでは、と思ってましたからMJマテリアルの設定集はたいへんありがたい!でもこういう設定集以外にも色々と出して欲しいですね、例えば「プリティフィギュア」があるんだから「ヒーローフィギュア」があったっていいし(速水さんのヒーローシリーズやボークスのオリエントヒーローなんかいいですね!でもゴジラはいいかげん見たくもないけど…)僕が一番欲しいのは「ボックスアートコレクション」!!!バンダイさんのキャラクタープラモのボックスアートをカラーで年代別、ジャンル別に何冊かに別けて出して欲しいです。アーチスト名、キットの発売年月(再販したものは再販時のも)価格(当時の)、箱の寸法、キット完成時の寸法、ボックスアートやキットの解説、できればキットの完成写真も載せてもらえたら最高! 少なくとも「鉄人28号」から「マジンガーZ」「ゲッター

『スパイラルゾーン』は 3D化しないんですか?!

千葉県/一心堂

ロボ」「ガイキング」「コンバトラーV」、「仮面ライダー」「ゴレンジャー」あたりはぜひ見たい！（はっきり言って「ガンダム」以後のアニメプラモのはいらない！（キッパリ、でも特撮ものは見たい）とにかく常にキャラクタープラモの先頭をいっている（ヨイショ！）バンダイさんの歴史が一目でわかるような資料的価値のあるものを出して欲しいと願ってやまない今日このごろです…。

北海道／河村　由

★年鑑バンダイ、400ページ、定価8500円。売れないでしょうね。ジョークです。

**前**略、バンダイさん、初めて手紙を出させていただきます。この前、模型情報を頼んだのに一ケ月半以上たってもこないのです。怒って電話をかけたりもしました。そしてやっとのことで来た時は、とても嬉しく思いました。初めて見るので、予想していたよりも、とてもよいものでした。ありがとうございました。実は模型情報を頼む住所を間違えてしまっていたのでした。そうとはしらず、もんくを言ったりして、どうもチィマチェンでした。深ーく反省しております。話は変わりますが、自分はヘ・タ・ク・ソですが、それでも、プラモ作りはとても好きです。一度、スクラッチやフルスクラッチをやってみたいのです。模型情報か、ほかの本でぜひ特集をして下さい。どうかおねげえしますだ、バンダイ様。それに、自分の住んでいる所では、もうM・S・V以外のガンプラをなかなか売っていないのです。バンダイさんの偉大な力でプラモデルの通信販売をやっていただけないでしょうか？そうしていただければ全国の、好きなプラモを買えない不幸（でもないか）な少年に喜ばれると思います。（自分もその一人）ぜひぜひお願いいたします。それで、3月号のテクニカルマニュアル2、見させていただきました。楽しく見せてもらいました。欲を出せば、もっと細部まで、くわしく説明していただけるともっともっとうれしいのですが。勝手なことばかり言って申し訳ありませんでした。でも、フルスクラッチの特集だけは、ぜひ、やって下さい。では長々と書かせていただいたのを、終わりにしたいと思います。粗末で失礼いたしました。バンダイ、バンザイ。

新潟県／必殺プラモ人

★プラモの通信販売ですが、難しい問題があってね。フルスクラッチなんて私もできません。

神奈川県／八田雅広

神戸市／篠崎裕介

**前**略、いつも楽しく貴社の模型を作らせてもらっています。アニメシリーズはすごいですね。L・GAIMシリーズはなかなかの出来でうれしく思っています。ただ、Cテンプルが没っていうのは残念ですが…。しかし、ロボチェンマンシリーズってのはいいですね。かわゆい上にゼンマイ走行、2等身半のスタイルはガチャポンのシリーズを思わせてとても楽しめます。先日、冗談半分でL－GAIMを職場へ持って行ったら「かわいい！」とすぐさま取り上げられてしまい、その後は「私も欲しい！」っていう女の子が次から次へとあらわれてアッという間にザクII、バイファム、マークIIなど5ケも私のコレクションを持ち去られてしまいました。やっぱり、かわいい上に走らせて遊べるというのがウケている様です。これからも面白いものを出して下さい。しかし、一つ四百円というのは少し高いですね。もう百円安いとBESTなんですけどね。あと、このシリーズのトゥランファムはいま2つですね。パニアーの上にのせるっては最悪ですよ、せめてガンダムやザクIIの変形にしてさも翔んでるっていう風にして欲しかったですね。パロ

大阪府／船越靖久

山口県／高橋正文

チェンマン大魔神は最高です。顔が変わるのがスゴイ!! 次作を大いに期待しちゃいます。スケールモデルの方ですが、1／20カーコレクションは一体どうなったのでしょう。私、車の模型はエンジンまで再現している上に走行ギミックがあるというのに魅せられて、ピアッツァ、スカイラインRS、RSターボ、スタリオンをはじめあの精密なディテールの「1／20バンダイ製」しか作らなかったのですよ！それが近ごろはCR－X、CIVICなど面白い車が次々と発表されているにもかかわらず全く模型がでない。もう近ごろはT社の1／24に浮気をしそうです。またすばらしい1／20スケールの車を出して下さい。それから1／20フィギュアも出ないのですか？ピアッツァに1／20のガルマとイセリナを並べてディスプレイするとものすごく似あうんですよ!! L－GAIMのキャラをぜひ1／20で出して下さい。私はムサい男ばかりの「北斗の拳」より、1／20のレッシィやアム、ラムちゃんの方が良い!! なにとぞよろしくお願いします。それでは次回の新製品に期待しつつペンを置きます。がんばってまたモデラーをあっと言わせるモノを出して下さい。P・S　1／100フルアクションバッシュを出して下さーい！

新潟県／竹田　一彦

★1／20カーファンの皆さん、すみません。本当に新製品がありませんね。

**こ**んにちはバンダイさん、少し遅いですが、MJマテリアル3エルガイムで嬉しかったり良かった事を書こうと思ってペンをとりました。先ず、前にHM1機につき1ページにして下さいと書いたら、AHMは1ページに1機となっていてとても嬉しかったです。それから顔のアップがほとんどあって良かったです。（HMは顔が命です！）それからラストのページですが、バイファムの時はRVVでしたが、今度のアシュラテンプルはとてもよかった。永野さんはやりたくなさそうだけど、テンプルシリーズのA～G（Bは代表的なのを5・6機）をキット化できたらいいですね。次のマテリアルはガンダムだそうですけど、MSやなんかのは山ほど出たので、うまくまとめて下さい。ガンダムといえば、Zガンダムは面白いですね。MkIIもいいけれど、赤いリックディアスが一番いいです。キット化の時はあの重厚なスタイルをうまくやって下さい。それから、MkIIの頭は絶対、前のやパーフェクトの頭と同じにせず新しく作って下さい。目はデカールの方がいいんじゃないんですか？（ハッキリいって楽です）ガルバルディとハイザックだって期待しています。話は変わりますが、今日やっとこ、ガチャポン、エルガイムが手に入りました。ディザードとグライアはいい。（アシュラとバッシュが欲しい!!）まだ完全に作ってませんが、きっと完成させます。P・S　マテリアルに、ザブングルとダンバインを絶対入れてください。（マイナーなところがいい！）

長野県／ジムボタン

★MJマテリアルのZガンダムは自信を持っておすすめしますぞ。

東京都／築紫輝一

# 模型情報 6月号


発行人……山科　誠
編集人……加藤　智
構成……池田　憲章／岩井田　雅行
小田　雅弘／金田　益実
徳木　吉春／安井　尚志
表紙イラスト……増尾　隆幸
写真撮影……サンフォトサービス社
レイアウト……㈱藤森デザイン事務所


▼いやあ、ムシ暑い陽気になりました。初夏は「鰻」がうまいのです。また名店めぐりをしてしまいそう。（オゥとウェイトが……。）時に、最近は前作のガンダムキット等がエラく新鮮で、1／100ガンキャノンなんか、気ィ入れてディテールアップしたら良いねェなどと思ってしまうのである。（小田）

▼おーい！「ザ・特撮コレクション」の新製品はどうなったんじゃ!! 金型起こしが面倒だったら、某プラモメーカー式に発売してみては？マツダRX－7の型で、アニー専用車、ジャスピオン専用車、「80」のスカウターS7、バトルフィーバー専用車、メガロマン専用車、「宇宙怪獣ガメラ」のマーシャ専用車が即出来ますよ。（金田）

▼MJマテリアル「Zガンダム」が完成しました。プラモファン、アニメファンのどちらにも楽しめるZガンダム前半のメカ集大成ですので是非、お買い求め下さい。ところで、今月のヒーロー〝バロム・1〟いかがでした。次回はス○ール○の予定です。（安井）

▼6月下旬から公開されるアニメーション「ペンギンズ・メモリー／幸福物語」のシナリオを読んで感動してしまった。うまい脚本です。オーソドックスなラブ・ストーリーなのに、ただそれだけなのに、うまい！セリフのひとつ、ひとつが泣かせます。この映画はかなりの傑作になりそうだ。（岩井田）

▼NHK教育TVで放映中の「おーい八二丸」の特撮がすごいでき。TVの前で、「ハニャー」と驚くばかり。胸のボタンを押すと「ハニャ」という人形を作れば、爆発的に売れ……んだろなあ。でも、ほしいネ。（池田）

▼今、仲間内で「サイコガンダム」が話題になっている。物語展開といい、イメージ的には実に「東映ロボット・アニメ」的であり、すごい傑作になるのでは、ともっぱらのウワサだ。うーむ、早く見たいなあ。（徳木）

▼いやはや、今月は壮絶な月でした。「別冊Zガンダム」と「別冊エリア」と5月見本市の準備が同時進行。（もっとも、Zガンダムは、安井さんと小田さんに、ほとんどおまかせでしたが）5月といえば「静岡見本市」。恒例とはいえ、この陽気の良い、しかもGWのあるお遊び月間に、忙しい思いをしなくちゃいけないなんて、世間がうらめしい。しめ切りを忘れて、どこかの温泉にでもつかって、のんびりしたいもんです。川口君、早くおいで……。
今月発表予定の「人材企画」の結果ですが、編集部の都合で来月にのばさせて頂きます。楽しみにしていた応募者の皆さん申し訳けありません。現在審査中ですが、なにしろ量が多くて、でも、皆さんの作品を見るのは楽しいですよ。良い勉強をさせてもらっています。（加藤）

★模型情報は模型店・玩具店でお買い求め下さい。尚、当社直送をご希望される場合は、代金（半年間900円、一年間1800円）を現金書留か郵便為替で同封の上、住所・氏名・生年月日・電話番号・何月号から希望するかを明記の上、お申し込み下さい。


●〒424　静岡県清水市袖師町702
㈱バンダイ静岡工場　MJ編集部・定期購読係まで

模型情報
70
模型情報6月号 昭和60年6月1日発行（毎月1回1日発行）第6巻第6号通巻70号 昭和59年10月26日第3種郵便物認可
発行人・山科誠 編集人・加藤智 印刷・小野美術印刷 発行所・〒424静岡県清水市袖師町702㈱バンダイ静岡工場 電話0543(65)5362(代) 定価一〇〇円